



SMI Travel Japan



カンボジア グループマニユアル 2014



エス・エム・アイ・トラベルジャパン株式会社
タイ・ベトナム・カンボジア・マレーシア・シンガポール・インドネシア・ミャンマー・台湾

東京 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-27 巴町アネックス2号館8階 TEL 03-3438-1014 FAX 03-3459-1385
名古屋 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-19-5 フレッシュOA5階 TEL 052-957-3716 FAX 052-957-3717
大阪 〒530-0054 大阪市北区南森町1-2-25 南森町Isビル2階 TEL 06-6311-5067 FAX 06-6311-0320
福岡 〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-1 ワコービル7階 TEL 092-725-2411 FAX 092-725-2412

S.M.I.CAMBODIA

グループセールスマニュアル項目

-カンボジア・インフォメーション-

-アンコール遺跡紹介-

-オプションツアー紹介-

-ホテル紹介-

-レストラン紹介-

-パーティー案、ゴルフ紹介-

-体験型訪問先紹介-

-ショッピング先紹介-



カンボジア

基本情報

- ◆国名 カンボジア王国
- ◆首都 プノンペン
- ◆面積 18万1,035km²（日本の約半分）
- ◆人口 1,338万人（2008年）
- ◆公用語 クメール語
- ◆民族 9割がクメール人、その他、チャム族、山岳少数民族など
- ◆宗教 仏教以上、残りがイスラム教、キリスト教
- ◆気候 カンボジアは熱帯モンスーン気候であり、11～2月は乾期で一年間で最も過ごしやすい季節。3～5月は暑期で最高気温が35度を超える熱帯夜が続く。5月中旬～10月は雨季でスコールが降る。
- ◆通貨 リエル(ただし、実際の流通はUS\$がメイン)
- ◆時差 マイナス2時間、日本の午前10時はカンボジアの午前8時。
- ◆ビザ 要
- ◆ベストシーズン 11-2月
- ◆世界遺産 アンコールワット遺跡群

滞在情報

- ◆服装 年間を通して夏の服装で良い。ただし、11-2月期の朝日観賞など朝晩は涼しくなることもありまた、レストランやホテルなど、エアコンが効き過ぎるところもあり上着が一枚必要。アンコールワット第3回廊はスカート、ショートパンツ、ノースリーブ、サンダルでは入場出来ません。
- ◆電圧 220ボルト。プラグはホテルによって違いますが、現状マルチタイプが使用されているケースがほとんどです。



- ◆両替 空港や市内の両替所、銀行やホテルなどで可能(日本円からUS\$、リエルへ)。基軸通貨がUS\$のため、US\$にてお持ちになるのが一番便利です。リエルへの両替の場合は日本円からいったんUS\$へその後、US\$からリエルへ換算します。再両替 空港で出来ます。
- ◆クレジットカード VISAが一番多く、MASTER、JCB、AMEXなども一部ホテル、レストランで使用可能。また、一部市内のレストラン、屋台ではカードは使えないケースも多いです。
- ◆チップ 習慣的なチップの制度はありません。ただし、観光地ということもありホテル、レストランでは何か特別にものを頼まれた際にはチップを渡されたほうがスマートです。枕銭がUS\$1、レストラン等ではお釣りのリエルを残すのが普通となっています。
- ◆水 水道水は飲めません。ミネラルウォーターをお勧めします。
- ◆治安 シエムレアップに関しては治安は良いとされていますが、置き引き、すりなどにご注意下さい。プノンペンでは夜間の外出、バイクタクシーへの乗車などはお勧めできません。
- ◆ネット 日本より通信状況は少し悪くなります。ホテルでは無料でWi-Fiのサービスを行うところが多いです。
- ◆通関 持ち込み US\$1万相当の外貨まで。タバコ1カートン。酒類2本。持ち出し 骨董品、石像、陶器など遺跡保護のため持ち出しチェックが行われることもありますので、購入場所のレシートなどは控えておいた方が良いでしょう。
- ◆交通 シエムレアップでは公共の交通機関はございません。バイクタクシー、トゥクトゥクが一般のカンボジア人の交通手段となっています。プノンペンではメータータクシーも出てきましたが流しはなかなかおらず呼び出す必要があります。また、プノンペン市内は時間帯によって渋滞を起こすケースが多いです。
- ◆病院 カンボジアの医療水準は日本に比べると低いです。ただし、シエムレアップ、プノンペンともに日本人スタッフのいる病院やキャッシュレスサービスもあります。
- ◆マナー 日本の常識の範囲内で行動いただければ大きな問題はなし。遺跡内部ではレリーフに触れたり、傷つけるような行為はご法度です。
- ◆喫煙 カンボジアは喫煙に比較的自由でしたが、旅行者の増大につれ空調のかかった場所での喫煙、遺跡内での喫煙は厳しくなっています。灰皿の設置されている場所での喫煙をお願いします。
- ◆持ち物 日差しが強いので、帽子、サングラス、日傘、日焼け止めがあれば便利。日没後は蚊が多い時期があるので、虫除け。雨季の時期は雨具、折り畳み傘。遺跡を多く歩くので、歩きやすい服装、履きなれた靴。

◆現地スタッフより

年間を通して暑くなりますので暑さ対策は十分に。こまめに水分補給し、出来るだけ影で過ごす、休む、のが疲れない秘訣です。そのためにも、帽子、日傘などを有効活用し、また、薄い長そでシャツを着用するのもいいですね。

現地にリエルへの両替を望まれる方もいらっしゃいますが、必要最小限にて問題ないです。リエルの場合、日本円からUS\$へ換算した後、再度US\$からリエルへ換算となるので2重に手数料が取られます。また、日本円への再両替もどうようとなります。ですので、US\$をお持ちいただくのがベストです。

シエムレアップは観光の町で外国人観光客を狙った犯罪というのは案外多くは無いですが、1点、交通マナーが日本に比べると悪い、夜間は街灯も少なく非常に暗い、ということもあり街、遺跡を歩く際には昼夜を問わずバイク、車にご注意ください。

観光地情報



通貨



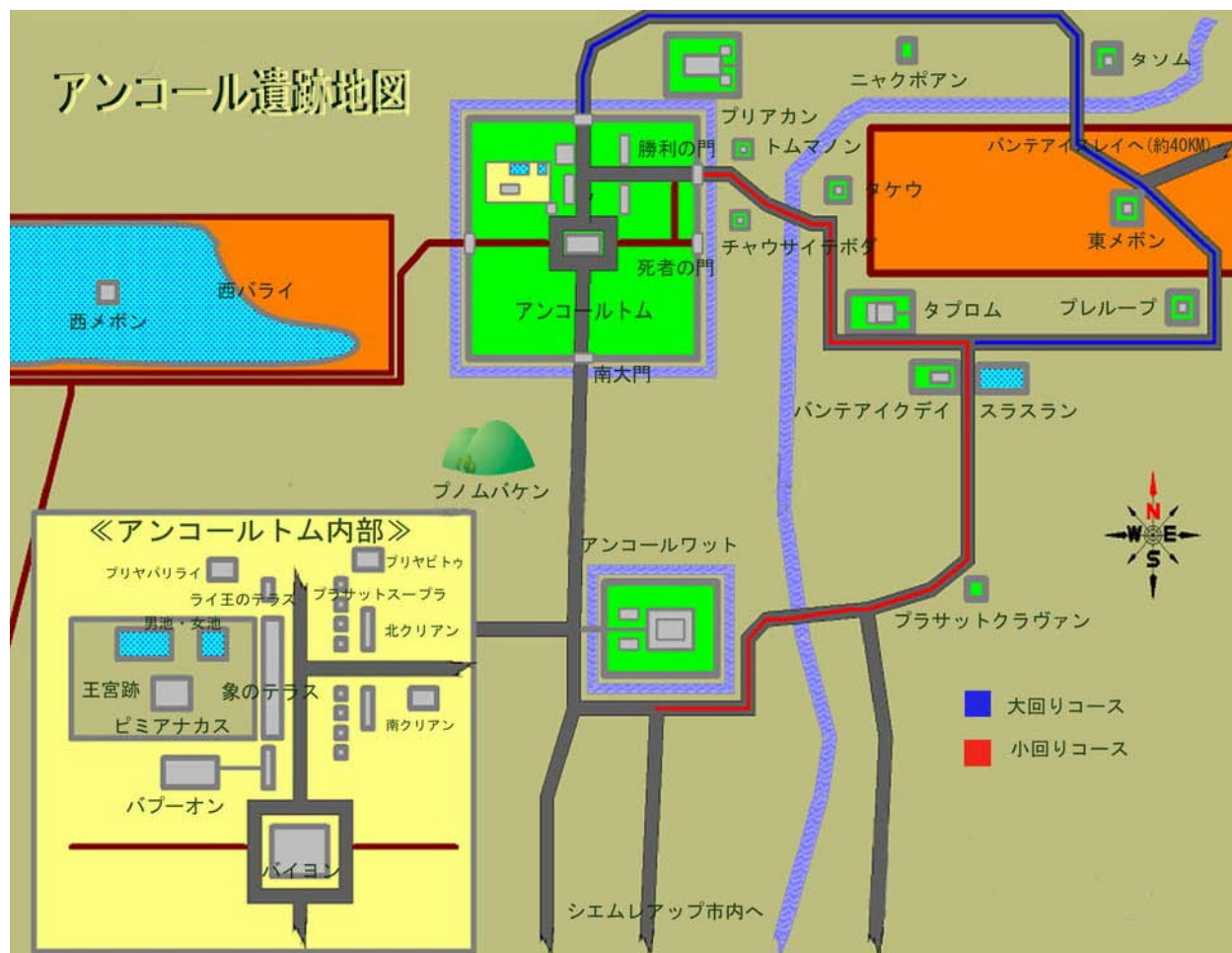
2014年4月現在 US\$1=4,000リエルほど(場所によって変動あり)
基本的にはUS\$が流通しており、ホテル、レストラン、市場、などいずれの場所でもUS\$で支払い、US\$でお釣りが戻ってきます。
ただし、US\$1以下のコインは流通していないため、US\$1以下のお金は現地通貨リエルを使用します。

アンコール 遺跡

加藤

S.M.I.TRAVEL CAMBODIA

アンコール遺跡



シエムレアップの北側に広がるアンコール遺跡。アンコールワット、アンコールトム、タブロム寺院、東洋のモナリザで有名なバンテアイスレイなど目玉となる寺院、それ以外の大小の寺院群から成り立っています。

本ページ以降、各遺跡、寺院の紹介をしていきます。

なお、グループのハンドリングの際使用する車の車種ですが、上記地図に明記のアンコールトム内部、小回りコース(赤で示した部分)、大回りコース(青で示した部分)は 35 シーター以上の大型バスの運行が不可となっています。この部分はマイクロバス(最大 20 シート)での運行となる点、ご注意ください。

シエムレアップ市内からアンコールワットまでが約 15-20 分ほど、特定の時期(年末年始や旧正月、カンボジア正月など)以外はそんなに道路も混みません。午前、午後と遺跡、シエムレアップ市内を行き来しながら観光を進めていきます。

注意点は暑さ対策です。

遺跡観光中は暑い中を歩いていきますのでこまめな水分補給、帽子、日傘、日焼け止めクリームなどがあると便利です。また、遺跡内は歩きやすい服装にて、靴もはきなれたものが良いです。

また、遺跡内での注意事項としてはすりの被害もたまに出ておりますので持ち物(バッグなど)は出来るだけ目の届く持ち方で歩いていただくようお勧めします。

あわせて、市内、遺跡合わせてカンボジアは交通ルールが日本のように整備されておりません。道を渡る際などバイク等に十分気をつけるようお願いいたします。

アンコール・トム観光①

行程(参考例)				
ホテル出発 == 南大門 == バイヨン寺院 バプーオン寺院 ピミアナカス				
08:30 発	(15 分)	(50 分)	(10 分)	(15 分)
..... 象のテラス 頼王のテラス == ホテルまたは市内レストラン到着				
(10 分)	(10 分)	12:00 着		
★ == は車での移動、は徒歩での移動になります。				
所要時間	約3. 5時間		食事	無し



1181年、ジャヤ・ヴァルマン7世によって建造されたクメール王国 最大の都 アンコール・トム。
クメール王国の歴代の王の中では めずらしく仏教を信仰していた王が作り上げた都には、非常に慈悲深かったといわれる王の寛容な心が、いたるところに表されております。
ヒンドゥー教を排他することなく、仏教との共存共栄を願い、全ての民のために心血を注ぎ、また、先代の王達の偉大な業績を称え、敬意を表している王の寛容な心を、このかつての都から感じていただけるかと思います。

アンコール・トムもアンコール・ワットと同様に、ヒンドゥー教の宇宙観を 地上に具現化した建造物であるといわれております。
都の中心寺院であるバイヨン寺院は、神々が住む山 須弥山(メール山)をあらわし、都を囲む一辺3キロメートルの城壁がヒマラヤ山脈、その周りを囲むお濠の水が大海(大きな海)、そして、お濠にかけられている石橋が神々の世界から人間の世界へ繋がる道をあらわしております。

ジャヤ・ヴァルマン7世の死後、クメール王国は衰退して行きますが、13世紀の終わりに この地を訪れた 中国人‘周達観’の著書「真臘風土記」によれば、“ 富貴なり、真蠟！”と表現されるように、100年以上も この都は繁栄しておりました。

- * 現在、35 席以上のバスは、南大門を通過することができません。
- * グループの場合は、南大門を徒歩にて通過後、マイクロバスに乗り換えて城壁内部の観光へご案内いたします
マイクロバスは、最大で 20 名様程しか 一度に乗車できません。人数が多い場合には、数台に分乗していただきます。
(マイクロバスは事前の予約が難しい為、混雑時には、他のお客様と同乗していただく場合もございます)



<南大門>

アンコール・トムの都を囲む城壁に五つある門の中でも一番保存状態の良い南側入口です。石橋の両側には、ヒンドゥー教の天地創造の神話「乳海攪拌」をモチーフとした、神々と阿修羅たちの石像が全部で88体並んでおります。入口には、高さ23メートルの塔門が作られ、上部には大きさが約3メートルもある「観世音菩薩」のお顔が彫られ、東西南北の4方向を向いております。これは、観音様のお慈悲が全ての民に届くように、また仏教の教えを知らしめる意味合いが込められているといわれております。

アンコール・トム観光②



<バイヨン寺院>

アンコール・トムの中心寺院であるバイヨン寺院は、全部で49の塔があり、全ての塔に東西南北、四方を向いた観音様のお顔が彫られております。クメールの微笑みといわれております、このお顔が皆様をお迎えいたします。

寺院は、宿敵チャンパを倒した、ジャヤ・ヴァルマン7世が戦勝記念として造られたとも言われているように、寺院の壁面には、沢山の当時の戦闘シーン、また、庶民の生活の様子などのレリーフが残されております。



<バイヨン寺院・第三回廊>

第三回廊まで登っていただくと、クメールの微笑みを間近にご覧いただけます。

祀堂の開口部からのぞくと、観音様のお顔が、額縁の中にすっぽりと浮かびあがるようにご覧いただけます。皆様のベストショットを見つけてください。



<ピミアナカス>

10世紀末 ラージェンドラ・ヴァルマン2世によって造り始められ、スーリヤ・ヴァルマン1世の時代に完成したといわれているヒンドゥー教の寺院です。

この寺院には、この国の土地主である蛇の精と王様との伝説が残されているとても神秘的な寺院であり、歴代の王様たちもこの伝説を信じ、この寺院をとて大切に扱っていたといわれております。



<バプーオン寺院>

1060年 ウダヤティティヤ・ヴァルマン2世によって造られたヒンドゥー教の寺院で、別名「隠し子の寺」とも呼ばれております。現在、フランスチームによる修復工事が行われているため、内部に入ることはできません。「隠し子の寺」とは、現在のタイを治めていた王様とカンボジアの王様の間で、捕虜として預かっていた王子をめぐる伝説によるものです。13世紀にこの地を訪れた中国人の周達観は、この寺院を「銅寺」と呼び、寺院の高さはバイヨン寺院の中央塔より高かったと真輶風土記に記載しております。本殿まで続く、参道は「空中参道」と呼ばれており、アンコール遺跡群の中でも非常に珍しい形と言われておりますが、この参道は円柱で支えられていることから、後世になってから増築されたものであるとの説もございます。



<象のテラス>

バプーオン寺院横から頼王のテラスまで、全長350メートルに渡って造られたテラスが象のテラスです。当時、このテラスの中央に王が出てきて、戦いに向かう兵士や、戦いに勝って帰還した兵士たちに謁見した場所であり、また、さまざまな式典や祭事が行われたとも言われております。象のテラスと呼ばれるようになったのは、後世になってからですが、由来はテラスの側面に彫刻されている象たちの姿によると言われております。

アンコール・トム観光③



< 頼王のテラス >

象のテラスの北側に作られた、高さ約6メートルのテラスが頼王のテラスです。テラスの上には、頼王の坐像（レプリカ）が残されております。本物は、プノンペンの国立博物館に所蔵されております。

1965年に、この地を訪れた三島由紀夫は、頼王の伝説をもとに、戯曲「ライ王のテラス」を書き上げました。



< 王宮城壁・跡地 >

かつての王宮は、木造建築であったため土台部分しか残っておりませんが、王宮を囲む高さ6メートルの城壁は残存しております。象のテラス中央部分の後ろに、城壁の東塔門が綺麗な状態で残されております。

城壁内部には、男池・女池と呼ばれる 当時の沐浴の池が残されております。



< プラサット・スーブラ >

別名「綱渡りの踊り子の塔」と呼ばれるプラサット・スーブラは、勝利の道を挟んで合計12基の塔が並んでおります。「綱渡りの踊り子の塔」とは、当時、これらの塔と塔の間に綱を渡し、踊り子に綱を渡りかかると、王様が眺めて楽しんだことから、この名前が付けられたそうです。

現在、日本チーム(JASA)による修復と発掘調査が行われております。



< クリアン >

プラサット・スーブラの後ろにある、崩れた建物がクリアンです。10世紀から11世紀にかけて造られたといわれておりますが、当時、これらは倉庫として使われていたようです。



* その他、12世紀から13世紀に造られた「プリヤ・ピトゥ」「プリヤ・パリライ」「プラサット・トップ」、14世紀から15世紀に安置された仏像（テップ・プラナム）などが、アンコール・トムの内部には残されております。

アンコール・ワット観光①

行程(参考例)			
ホテル出発 === アンコール・ワット見学 === ホテル到着 14:30 発 15:00 から 17:00 17:30 着			
★アンコール・ワットの見学可能時間は 5:00 から 18:00 までになります(季節により若干の変動あり)			
所要時間	約3時間	食事	無し



1113年、スーリヤ・ヴァルマン2世によって建造されたヒンドゥー教寺院、アンコール・ワット。
 現在は、改宗し仏教寺院としてカンボジア人の信仰の対象であり、カンボジア国の象徴となっております。
 1992年に、ユネスコの世界遺産に登録され、2004年までは、危機遺産としても登録されておりました。
 現在、100万人を超す観光客が、このアンコール・ワットを訪れます。

アンコール・ワットは、ヒンドゥー教の宇宙観を 地上に具現化した建造物であるといわれております。
 高さ65メートルの中央塔は、神々が住む山 須弥山(メール山)をあらわし、寺院を囲む城壁はヒマラヤ山脈、その周りを囲むお堀の水は大海(大きな海)、そして、参道は神々の世界から人間の世界へ繋がる道をあらわしております。
 また、西側が正面であることから、この寺院を建造したスーリヤ・ヴァルマン2世の墳墓であるとの説も残されています。

早朝、夜明け前には、シルエットだけの姿しか見せないアンコール・ワット、夜明けが近づくにつれ、朝焼けの空に浮かびあがるように見えるアンコール・ワット、雨季のスクールの後には、寺院の石の色が変わって見え、また夕暮れ時には、夕日に赤く染まる姿、一日中、見るものに幻想的で壮大なその姿を披露するアンコール・ワットを是非ご覧ください。

* 35 シーター車より大きい車に関してはワット前への乗り付けは不可、駐車場(200m ほど歩く)からのアクセスとなります。



第一回廊

ラーマヤナー物語を初めとするヒンドゥー教の神話の数々を描いたレリーフが、長さ600メートルにわたり彫刻されております。当時のクメール人彫刻師たちの腕前をご覧ください。(通常ツアーでは、ラーマヤナー物語、マハーバーラタ物語、王軍の行進、天国と地獄、乳海攪拌の五つのレリーフをご紹介します)



十字回廊

第一回廊と第二回廊の間に位置する、十字回廊には、寛永九年(632年)に、この地を訪れた日本人「森本右近太夫一房」の落書きが残されております。

南側は、アンコール・ワットが、仏教寺院に改宗した後に持ち込まれた仏像が奉納され、千体仏(プリア・ポアン)と呼ばれております。

現在もいくつかの仏像が安置され、信仰の対象となっております。

アンコール・ワット観光②



第二回廊

アンコール・ワットには全部で2,000体のデヴァター像が残されておりますが、その中でも第二回廊内側の外壁には、さまざまなスタイルのデヴァター像が彫刻されております。

お気に入りのデヴァター像とのツーショットはいかがでしょう？



第三回廊

中央塔とその周りを囲む4祠堂をつなぐ第三回廊は、長さ11メートル傾斜50度を超える急勾配の階段を登った者しか訪れることができません。かつて、中央祠堂にはヒンドゥー教三大神であり、アンコール・ワットの主神であったヴィシュヌ神像が安置されておりましたが、仏教寺院に改宗された14・5世紀に仏立像を彫った壁を取り付け、現在ご覧いただける祭壇へと変化いたしました。この回廊からは、バケン山及び、周辺の広大な平原を眺めることができます。

2014年5月現在、カンボジアの仏日を除き見学可能となりました。（但し、常時100名の滞在のみ。ノースリーブ、スカート、短パン不可）

アンコール・ワットにて朝日鑑賞

行程(参考例)

ホテル出発 == アンコール・ワットにて日の出鑑賞 == ホテル到着
5:00 発 7:00 着

★ 日の出の時刻に合わせて、出発時刻、ホテル到着時刻が前後いたします。

所要時間	約2時間	食事	無し
------	------	----	----



夜明け前にホテルを出発し、アンコール・ワット西塔門にて、日の出を待ちます。

真っ暗な中、アンコール・ワットのシルエットだけの姿から、日の出が近づくにつれ、アンコール・ワットの姿がはっきりとご覧いただけるようになり、朝焼けの空にさまざまな色が浮かび、幻想的な雰囲気味わえます。

静寂さの中、日の出が近づくにつれ、さまざまな生き物たちの鳴き声が聞こえ始めます。

朝日は、アンコール・ワットの後方から昇りますので、実際の日の出時刻より遅れてご覧いただきます。

とくに、春分の日と秋分の日には、中央塔の後ろから朝日が昇りますので、日の出の時刻からしばらくたって朝日を見ることになります。

* 懐中電灯・サングラスをご用意したほうがよろしいです。

* 時期によっては、上着のご用意をお勧めいたします。（11月から1月頃まで）

バンテアイ・スレイ観光

行程(参考例)			
ホテル出発 09:00、15:00 発	===	バンテアイ・スレイ見学 10:00、16:00 着 (30 分)	=== ホテル到着 11:30、17:30 着
★途中、プラダック村にて高床式住居見学可能です(約10分程)			
所要時間	約3時間	食事	無し



バンテアイ・スレイは 967年 ジャヤ・ヴァルマン5世によって造られたヒンドゥー教寺院です。
ジャヤ・ヴァルマン5世は、幼少で王位に就いたため、実際には、摂政であったヤジュニヤ・ヴァラーハによって造られたとも、言われております。

バンテアイ・スレイの バンテアイとは、「砦」という意味を持ち、スレイとは「女性」を意味する言葉から、「女の砦」と呼ばれております。また、ほかに、「女神シュリーの城」という意味もあるようです。
この名が付けられた理由は、寺院がラテライトと赤色砂岩によって造られ、全体的に赤っぽい色合いが女性的であるとか、昔このあたりに女だけの部隊があったからなどの説がございます。

「東洋のモナリザ」と呼ばれる女神像がある寺院として、一躍、世界的に有名な寺院にしたのが、のちにフランスの文化大臣になる アンドレ・マルロー氏です。
冒険家であり、作家でもあったマルロー氏は、1923年にカンボジアを訪れ、未発見の遺跡を見つけ出し、持ち帰ろうと試みしました。実際に、マルロー氏は、このバンテアイ・スレイを発見し、女神像を盗みますが、結局、プノンペンで逮捕されます。そのときの体験をもとに、1930年「王道」という小説を発表し、バンテアイ・スレイが脚光を浴びることになりました。
(実際には、1914年に、この遺跡は発見されており、美術的に第一級の寺院であると発表されていたそうです)

「東洋のモナリザ」は、大きさが60センチほどの小さな女神の彫像ですが、一体だけではなく、全部で16体もございます。
この女神像は、腰を曲げた、柔らかな姿勢で描かれ、装飾品も非常に細かく彫り込まれており、それ以前の直立不動の女神像とは全く異なるもので、この時代以後の女神像に非常に影響を与えたといわれております。

寺院全体は、非常に小さなものですが、残されているレリーフは見事なものばかりです。
寺院建造に使われた、赤色砂岩・通称「ばら色砂岩」と呼ばれているこの石材は、非常に硬度が高いため、彫られたレリーフがとても綺麗に残されております。

市内から片道1時間ほどの悪路をバスにゆられながら参りますが、それらの彫刻を見る価値は十分にございます。

* 道路状況により、市内からバンテアイ・スレイまでの所要時間は15分から30分前後いたします。

バンテアイ・サムレ観光

行程(参考例)			
ホテル出発 09:00、15:00 発	=== バンテアイ・サムレ見学 09:50、15:50 着 (40 分)	=== ホテル到着 11:20、17:20 着	
★途中、プラダック村にて高床式住居見学可能です(約10分程) ★上記バンテアイスレイと組み合わせ、半日での観光も可能です			
所要時間	約2. 5時間	食事	無し



12世紀前半に造られたといわれているバンテアイ・サムレは、「サムレ族の砦」という意味になります。「サムレ」とは、クメール語の古い言葉で「入れ墨」という意味があり、その模様と、山の上から見た畑の模様が似ているところから、この地方で畑をつくっていた種族を「サムレ」と呼んだと推測されています。

この寺院からは、碑刻文が発見されていないため、正確な年数などがわかっておりませんが、残されたシンハ像がアンコール・ワットのシンハ像と同じであったり、中央祠堂の外観がトマノンなどと良く似ていることから、スーリヤ・ヴァルマン2世によって造られたと言われております。

外周壁の高さは6メートル、長さは東西に83メートル、南北に77メートルあり、東西南北にそれぞれ塔門が造られております。ジャヤ・ヴァルマン8世の時代に増築が行われたようで、寺院内部の構成はかなり複雑になっております。祠堂の壁面には、女神デヴァター像の彫刻はみられませんが、各所に残されている浮き彫りは、深く彫られており、ラーマヤナ一物語、クリシュナにまつわるお話、神々の姿などが残されております。

この寺院は、アンコール遺跡群から少し外れているため、訪れる人も少なく、ひっそりとしておりますが、1960年代に、修復され、ほぼ原型に近い形になっております。どこに行っても、大勢の観光客がいるなかで、穴場的な寺院といえるかもしれません。

小回りコース観光①

行程(参考例)			
ホテル出発 == トマノン/チャウ・サイ・デヴォダ == スピアン・トモー == 08:30、14:30 発 (10 分) (車窓)			
タ・ケウ寺院 == タ・プローム寺院 == バンテアイ・クディ寺院 (車窓) (50 分) (30 分)			
スラスラン == プラサット・クラヴァン == ホテルまたは市内レストラン到着 (10 分) (15 分) 12:00、18:00 着			
★ == は車での移動、は徒歩での移動になります。			
所要時間	約3. 5時間	食事	無し

* 現在、小回りルートの通過はマイクロバス以下の大きさの車種のみ、となります。35 シーター以上の大型バスでの運行は不可。



< トマノン / チャウ・サイ・デヴォダ >

トマノン寺院を建設した王様の名前はわかっておりませんが、祠堂の形、女神デヴァター像の彫刻などが アンコールワットと非常によく似ていることから、「ミニ アンコール・ワット」とも呼ばれ、スーリヤ・ヴァルマン2世によって造られたとも言われています。

寺院は、奥行き60メートル、幅40メートルの小さなもので、1960年代にフランス極東学院によって修復されました。

道路を挟んで向かいあっている、現在、中国チームによって修復作業が進められている遺跡がチャウ・サイ・デヴォダです。トマノン寺院と非常に良く似ておりますが、寺院の規模は小さく、スーリヤ・ヴァルマン2世の時代の後期に建造されたと言われております。

この寺院には、アンコール・ワット、バプーオン寺院と同じような円柱に支えられた参道がございますが、この参道と東側のテラスは、後の時代 ジャヤ・ヴァルマン8世によって 増築されたと言われております。

* アンコール・トムにてマイクロバスへの乗り換えが発生したグループは、これらの寺院前が、大型バスへの乗り換え場所となります。(アンコール・トムから小回りコースへ回るツアーの場合です)

< スピアン・トモー >

11世紀前半、スーリヤ・ヴァルマン1世の時代に建設され、ジャヤ・ヴァルマン8世が13世紀後半に再整備し、さらに、16 世紀後半には、ソター王が再度整備したといわれております、かつての 石橋です。

橋を支える橋げたは、全部で14本あり、石材には ところどころ模様が彫りこまれております。

小回りコース観光②



< タ・ケウ寺院 >

1000年にジャヤ・ヴァルマン5世によって造られ、「黄金の頂きの山」という意味の ヘマシュリーナガギリと呼ばれました。寺院は、975年に工事が着工されましたが、石を積み上げた状態で工事が中断されております。その理由は、王様が亡くなったため、雷が落ちたので縁起が悪い、内乱状態になり、石材の入手が困難になったなど諸説がございます。

タ・ケウ寺院は、クメールの遺跡を調査している専門家たちにとって非常に学術的な価値が高いといわれております。それは、工事が中断されたため、当時の建築方法を知る上での良い手がかりとなっているからです。また、この寺院は、砂岩を積み上げて構築された最初の寺院であり、それまで、寺院内部に個別に設置されていた建物を繋げて回廊という形を作り上げた最初の寺院でもあります。

寺院自体の大きさは、内壁が東西に80メートル・南北に75メートルあり、中央塔の高さは 30メートルですが、先端が崩壊する前は、50メートルを超えていたそうです。

つかわれている石材は、緑色の砂岩で、非常に硬質で、耐久性があり、見た目に硬い印象を与えます。

とくに、石を積み上げただけの状態で、何の彫刻もされていないため、より一層 硬いイメージとなっております。

＊ 通常、タ・ケウ寺院は車窓見学になりますが、お写真を撮りたいお客様がいらっしゃる場合には、バスを止め、撮影タイムを設けております。（約5分程）



< タ・プローム寺院 >

1186年にジャヤ・ヴァルマン7世によって造られ、当時は「王の僧院」という意味の ラージャヴィハーラと呼ばれました。この寺院からは、沢山の碑刻文が発見され、寺院内部には 約12,000人が住んでいたとの記録が残されております。ジャヤ・ヴァルマン7世は、母親の菩提と弔うためと、神々の縁者たちの栄光を願ってこの寺院を建立したそうです。

1868年に、フランスの調査隊がこの寺院を発見しておりますが、スポアン（大蛇）の根を大蛇と間違えて腰を抜かしてしまったという話が残されております。

そのスポアン（日本名：榕樹）をはじめ、植物が遺跡を破壊し、遺跡と一体となっている様子をご覧ください。

遺跡の修復にあたり、フランス極東学院は、この寺院を19世紀に発見した当時のままの自然な状態で残す方針を決めました。が、これ以上の崩壊を防ぐために 必要最小限度の修復は行っております。

アンコール遺跡群のなかで、遺跡発見当時の様子を想像することが出来る、一番近い場所にある寺院がタ・プローム寺院です。

小回りコース観光③



< バンテアイ・クディ寺院 >

この寺院はジャヤ・ヴァルマン7世によって12世紀の終わりに造られたと言われておりますが、もともと10世紀にラーजेンドラ・ヴァルマン2世によって造られたヒンドゥー教寺院を、ジャヤ・ヴァルマン7世が増改築した寺院です。
「僧房の砦」という意味から、当時、この地には、お坊さんの宿坊が沢山あったのではないかとわれております。

大きさは、東西700メートル・南北500メートルあり、タ・プローム寺院と同じように外側には周壁があり、東西南北には塔門が造られ、塔門の上部には 南大門とおなじように 観音様のお顔が彫りこまれております。

ジャヤ・ヴァルマン7世は、建寺王と呼ばれるくらい沢山の寺院を建造いたしましたが、この寺院で使われている石材は、他の寺院と比べ、質が劣っていることから、当時、寺院建設に使われた石材が不足していたのでは？ 他で使われていた石材を転用していたのではないかと ともわれております。

1980年以来、日本の上智大学アジア文化研究所では、この寺院の調査・修復活動を行っており、カンボジア芸術大学の学生の教育・訓練の場となり、遺跡の修復・保存のための基礎的な研修がなされております。
2000年から2001年の発掘調査で、274体の廃仏及び千体仏石柱が発見され、日本のテレビでも放映されました。
これらの発掘物は、現在建設中の博物館に収納展示する予定となっております。



< スラスラン >

スラスランは「王の沐浴の池」という意味を持つ、東西700メートル・南北300メートルの巨大な人造池です。

10世紀半ば、ラーजेンドラ・ヴァルマン2世の時代に、宮廷建築家であったカヴィンタリマターナによって建造されました。
「堤防を破壊する象を除いた 全ての生き物に役立つように造られた」と 10世紀の碑刻文が残されております。

12世紀末、ジャヤ・ヴァルマン7世によって、周辺に砂岩の縁取りがされ、テラスがつけられました。
当時は、王様専用の沐浴の池であったスラスランも、現在では、周辺の子供たちの水浴び場であり、動物たちの水のみ場となっております。

小回りコース観光④



< プラサット・クラヴァン >

プラサット・クラヴァンは 10世紀のはじめ、ハルシャ・ヴァルマン1世 あるいは イーシャナ・ヴァルマン2世の時代に高級官使たちによって建立され、921年に奉納されたと言われております。

五つの祠堂が同じ基壇上に横一列に並んだ配置と、祠堂内部に残されている浮き彫りが アンコール遺跡群のなかでも特徴的です。1000年以前の寺院には、レンガが多く使われておりますが、その中でも、直接レンガに浮き彫りが施されているものは、非常に珍しいものです。

レンガは風化に弱く、もろいものですが、この寺院の浮き彫りは非常に精巧なもので、一見の価値あります。

1960年代にフランスにより修復工事が行われましたが、「必要以上の解体、修復は行ってはならない」との 遺跡修復の国際協定に基づき、発見当時の形までの修復になっております。

修復の際に利用した 新しいレンガにはアンコール保存事務所のイニシャル CA (Conservation de Angkor)が印されております。

バケン山にて夕日鑑賞

行程(参考例)			
ホテル出発(または他の遺跡) === バケン山にて夕日鑑賞 === ホテル又は市内レストラン到着 16: 00 発 18: 30 着			
★ 日の入りの時刻に合わせて、出発時刻、到着時刻が前後いたします。			
所要時間	約2時間	食事	無し



アンコール三霊山の一つ、標高99メートルのバケン山の山頂寺院からは、360度の大パノラマがご覧いただけます。北東方向には、アンコール王朝発祥の地であるクーレン山脈、手前にはおにぎり型のボック山、東南アジア最大の湖トンレサップ湖とその湖畔にあるクロム山、そして、唯一、アンコール・ワットを見下ろすことができる寺院になります。天気が良いときに見られる、地平線上に沈んでゆく夕日は一見の価値あります。

夕日鑑賞のスポットとして有名なバケン山ですが、山頂寺院は、ヤショー・ヴァルマン1世によって、第一次アンコール王都・ヤショー・ダラブラの中心寺院として造られました。バケン山の勾配を利用し、造られた寺院の中央祠堂には、907年にシヴァ神のリングが奉納されたと碑刻文に残されております。

- * 現在、山頂寺院へ行くには山道を15分から20分かけて登っていただきます。
 なだらかな、山道を登ったあとには、寺院本殿に到着いたしますが、急勾配の4層の階段を登って中央祠堂に到着です。
 アンコールの大パノラマをご覧頂くためには、中央祠堂まで登っていただくことをお勧めします。

また、2014年5月現在、常時300名までの中央祠堂への入場、となっており、時期、時間によっては登るのを待つ、もしくは登れない、とい可能性があります。

夕日が沈んでから下山する場合には、道が暗くなりますので、懐中電灯をご用意されたほうがよろしいです。

雨季の期間、雨が降ってなくても、山道の状態が悪い場合には、見学を中止させていただく場合がございます。
 (もしくは、日程の入れ替えをさせていただきます)

大回りコース観光①

行程(参考例)			
ホテル出発 == プリア・カーン == ニャック・ポアン == タ・ソム == 08:30、14:30 発 (50 分) (45 分) (20 分)			
東メボン == プレ・ループ == == ホテルまたは市内レストラン到着 (20 分) (20 分) 12:30、18:30 着			
★ == は車での移動、.....は徒歩での移動になります。			
所要時間	約4時間	食事	無し

* 現在、大回りルートの通過はマイクロバス以下の大きさの車種のみ、となります。35 シーター以上の大型バスでの運行は不可。



< プリア・カーン >

プリア・カーンは、1191年 宿敵チャンパとの戦いで勝利したジャヤ・ヴァルマン7世が、戦勝記念として建立した仏教寺院です。チャンパを撃退できずに、1177年にこの世を去った 父ダラーニンドラ・ヴァルマン2世の菩提を弔うために、ロケーシュヴァラ観音菩薩を祀った寺院でもあります。また、もともと、この地には、ヤショー・ヴァルマン2世の王宮があったと言われております。

大きさは、面積53ヘクタール、外門までは長さ150メートルの参道があり、参道の両側には、高さ2メートル50センチ角の石柱96基が100メートルにわたり並んでおります。石柱の下半分は、獅子の頭と足を持つ像が浮き彫りされ、上半分は、後の時代にヒンドゥー教徒により削り落とされた跡が残されております。

東西800メートル、南北700メートル 一周約3キロメートルある外周壁には、東西南北に塔門が造られ、塔門の上部には、四面仏・観音様が彫りこまれております。塔門の両側には、巨大なガルーダがナーガに跨っている砂岩像があり、約50メートル間隔で、72体ございます。

寺院内部には、アンコール遺跡ではめずらしい二階建ての建物、リンがとヨーニの石像、16世紀のものと思われるストゥーパなどが残されております。

当時、この寺院には、97, 840人の僧侶、召使、踊り子があり、踊り子だけでも1, 000名もいたといわれております。また、チャンパとの戦いに使用した「勝利の剣」を奉納し、父のために ロケーシュヴァラ観音菩薩を祀り、ほかにも430余りの神仏像を安置したと碑刻文に残されております。

この寺院で発見された、ブジュニーパーラミター（般若波羅蜜菩薩）像は、フランスのギメ美術館に展示され、全面に碑刻文が記された石碑は、アンコール保存事務所に保管されております。

大回りコース観光②



< ニャック・ポアン >

この寺院は、今では完全に干上がってしまった プリア・カーンのバライ・ジャヤタターカ(ジャヤ・ヴァルマン7世の池)の中心寺院として建立されました。
もともと この地は、ヒンドゥー教の聖地で「ラージャスイリー(王国の繁栄)」といった意味があると、プリア・カーンの碑刻文には、残されているそうです。

一辺300メートルの島に、五つの池が造られ、中央の池は病をなおす 不思議な水をたたえるという ヒマラヤ地方の伝説の湖「アナヴァタープラ」をあらわし、獅子・象・牛・人の頭の彫刻を通して 四方の池へ流れる聖なる水は ヒマラヤ山脈の聖なる湖を源とする、インドの四大河を象徴したものであると言われております。

仏教信者である、ジャヤ・ヴァルマン7世が 貧しく、病める人々に 観音様の慈悲を与えることを目的として建造されたニャック・ポアンには、当時、沢山の病人が訪れて、この聖水を使ったといわれております。
国内に102箇所の施療院(今でいう病院)を造った ジャヤ・ヴァルマン7世の慈悲深さが表れた寺院といえます。

また、この寺院には、観世音菩薩の化身である「神馬ヴァラーハ」の彫像が残されていることも特徴的です。

*** 現在、内部には木製の柵があり北側の池の手前までしか侵入はできません。**



< タ・ソム >

12世紀から13世紀に、ジャヤ・ヴァルマン7世によって造られ、インドラ・ヴァルマン2世により拡張されたといわれている、タ・ソムは、イチジクの木が塔門の四面仏にからみついている姿が印象的な寺院です。

プリア・カーンの碑刻文には「クラスイカラッターナー」吉兆の象徴である「珠玉の白象寺院」と呼ばれ、22対の神像が安置されていたそうです。

タ・プローム、パンテアイ・クデイを小さくしたような寺院で、ジャヤ・ヴァルマン7世が作った寺院の中では、非常に簡素な構成となっております。

大回りコース観光③



< 東バライ・東メボン >

東バライは、現在では完全に干上がってしまいましたが、9世紀末に ヤショー・ヴァルマン1世が新都ヤショーダラブラに造った巨大な貯水池で、大きさは 東西7・5キロメートル、南北1・8キロメートルございました。

東バライは「ヤショーダラタターカ」と呼ばれ、「ヤショー・ヴァルマンの神聖なる池」という意味になります。「聖なるガンジス河を守っている女神ガンガーの庇護にある」という意味のサンスクリット語の詩文が刻まれた石碑が、バライの四隅に建てられていたそうです。

この巨大な貯水池東バライの中央に建てられたのが、東メボンになります。ラーजेンドラ・ヴァルマン2世は、先祖の霊を弔うためと、シヴァ神に捧げるために東メボンを建造したと言われております。設計は、アンコール王朝で 唯一 名前が判明している 建築家のカヴィンドラリーナによってなされ、ラーजेンドラ・シュヴァラと命名されたリングが、953年1月28日 午前11時に 中央祠堂に奉納されたという記録が残されております。

ラテライトが三層に積まれて基壇を構成し、祠堂はレンガで造られ漆喰で装飾され、柱や扉は砂岩が使われました。全体的に赤っぽい色から、完成した当時は「燃える山」と呼ばれたそうです。また、第一階層と第二階層の四隅には、全部で8体の実物大の象の石像が据えられているのも特徴的です。



< プレ・ループ >

928年から約16年間、ジャヤ・ヴァルマン4世によってアンコールの都はコーケーに遷都されておりました。944年に、コーケーより 現在のアンコール地方に再び遷都したのが、ラーजेンドラ・ヴァルマン2世で、その王都の中心寺院として建立されたのが、このプレ・ループです。寺院の正式名称は「ラーजेンドラ・ヴァドシュヴァラ」であり、プレ・ループという名称は後世につけられたものです。

プレ・ループとは、古クメール語の呼び名で、当時のアンコール王朝で死者を荼毘に付すさいに行われた儀式のことになります。どのような儀式かというと、荼毘に付した際の灰に 最初は東に向けた人間の像を描き、それを消して、今度は西向きの像を描きます。これを「人形(ひとかた)まわし」プレ・ループと呼んだそうです。

東塔門の正面には、当時、死者を荼毘に付したときに使われたといわれている石櫃が残されております。また、当時、儀式に使われたといわれている アンコール遺跡では珍しい方形の小祠堂も残されております。

ロリュオス遺跡観光①

行程(参考例)			
ホテル出発	ロレイ祠堂	プリア・コー寺院	バコン寺院
09:00、15:00 発	(20 分)	(20 分)	(30 分)
			ホテル到着
			11:30、17:30 着
★ == は車での移動、.....は徒歩での移動になります。			
所要時間	約2.5時間	食事	無し

アンコールの遺跡のなかで、もっとも古い遺跡群があるところが、ロリュオス遺跡群になります。
この遺跡群は、シェムリ・アップ市内から 東へ13キロ、車で、20～30分のところにあるロリュオス村にございます。

アンコール王朝を創建した ジャヤ・ヴァルマン2世により、ロリュオス地区に都の基礎が造られ、甥であるインドラ・ヴァルマン 1 世によって都が完成したといわれております。この都が「ハリハララヤプラ」と呼ばれておりました。

かつて この地域には、「インドラタターカ」(インドラ・ヴァルマン王の池という意味)と呼ばれた、東西3.5キロメートル、南北800メートルの貯水池がございました。現在では、干上がっておりますが、「村に住んでいる人たちに、池・タターカを掘らせた」と碑刻文が残されております。「タターカ」とは、サンスクリット語で 貯水池を意味する言葉になります。

フランス人建築家 J デュマルセイによると、カンボジアには、ふたつの貯水法があった言います。
一つは、土を掘って小さな池を造ったり、自然の窪みを利用した沼や池を人工的に拡大したもので、遺跡にあるお濠などが該当します。もう一つは、地面に土手をつくり、堤防で囲んだ中に水を溜めるもので、これがバライと呼ばれております。

「バライ」とは、「大海のごとく 喜びをもたらす 池」「そのうで＝分流を通じて 乳海、自ら邪悪な水をとりのぞき 甘露の湖に変える」と、碑刻文に残されております。アンコール地方で、はじめてのバライ方式の貯水池が造られたところが、この地になります。



< ロレイ祠堂 >

893年、インドラ・ヴァルマン1世の息子である ヤショ・ヴァルマン1世が、インドラタターカの中心に祖先を祀るために建造した寺院がロレイ祠堂です。このロレイ祠堂が、のちに造られる 東メボン・西メボンの原型ではないかとされております。

現在、4基しか残っていない祠堂の中心と、島の中心が食い違っている配置から、当初6基の祠堂が建てられる予定であったと言われております。

当時、正面の二つの祠堂には、シヴァ神としての父親と祖父の肖像を石像にして、また、後ろの二つの祠堂には、シヴァ神の妃・ガウリー女神としての母親と祖母の肖像を石像にして安置していたといわれております。
後ろの祠堂から出土された、ガウリー女神として祀られた 高さ1.75メートルの砂岩で造られた ラージェンドラ・テーヴィ妃の石像がプノンペンの国立博物館に保存されております。

ロレイ祠堂には、ほかでは見ることが出来ない珍しいリングが残されております。
通常、リングとヨーニは一對となって安置されておりますが、ここでは、ヨーニの代わりに砂岩で出来たトイが地面に置かれています。当時、リングに注がれた水が、聖なる水となって、トイをつたい、インドラタターカへ流される儀式が行われていたようです。

ロリュオス遺跡観光②



< プリア・コー >

879年、インドラ・ヴァルマン1世は、祖先を祀るためにこの寺院を建立しました。アンコール遺跡群の中では、最も古く小さなレンガ造りの寺院ですが、旧都ハリハララヤブラに建立された最初の寺院です。「プリア」とは聖なるもの、「コー」は牛を意味する言葉になり、プリア・コーは「聖なる牛」という意味になります。祠堂のまえに、残されている三頭の聖なる牛「ナンディー」の石像がこの寺院の名前の由来ではないとも言われております。

周壁は、東西500メートル、南北400メートルあり、東と西に塔門が造られておりましたが、現在では、全壊状態です。基壇の上には、6基の祠堂が建てられ、前列の三つの祠堂はアンコール王朝を創建したジャヤ・ヴァルマン2世や、自分の父親など男性の祖先を祀り、後ろの三つの祠堂には、自分の母親と先王の妃たちを祀ったと言われております。

寺院建造に使われている材料は、基本的にはレンガですが、砂岩で造られた偽扉があったり、偽扉に漆喰で装飾をしたりと、建築方法に一貫性がないことなどから、寺院建造で使う材料選びに試行錯誤していたのではないかと考えられております。

1933年から35年にかけて、フランスによって修復工事が行われ、1999年の修復工事の結果、現在の砂岩で出来た基壇の下にはレンガの基壇があることが発見されました。現在も、フランスチームによって、修復作業が行われております。



< バコン寺院 >

881年、インドラ・ヴァルマン1世によって建造された、アンコール王朝最初のピラミッド型ヒンドゥー教寺院がバコン寺院です。ハリハララヤブラの都の中心寺院であり、敷地は、東西900メートル・南北700メートルあり、二重のお堀と三重の周壁で囲まれていたと言われておりますが、現在では、最大幅60メートルのお濠と、お濠の外側の周壁、内側の周壁の基礎だけが残されております。

この寺院のお堀にかけられている参道に残されているナーガの石像は、非常に珍しく、胴体部分は、地を這うような姿になっており、頭の部分は立体的に造られております。

本殿は、五層になっており、五つの世界(ナーガの世界・ガルダの世界・夜叉の世界・羅刹の世界・神々の世界)を五つの段階であらわしたものです。のちにこの五層は、アンコール・ワットに代表されるように三層に省略されるようになりました。

各層の四隅には、象の石像が置かれ、魔よけの役割を果たしていたそうです。高さ15メートルの中央塔は、その様式から、12世紀に再建されたものであると考えられております。4層目の基壇の側面には、当時は、壁一面に彫刻がされていたようですが、現在は阿修羅の彫刻が一部分のみ残されております。

ベンメリア遺跡観光

行程(参考例)				
ホテル出発 08:30、14:30 発	==	ベンメリア遺跡 09:45、15:45 着 (60 分)	==	ホテル到着 12:00、18:00 着
★ == は車での移動になります。				
所要時間	約3時間半	食事	無し	



かつて、「プラケットメリア」と呼ばれていたベンメリアへは、市内から東へ80キロメートル、車で1時間半ほどの道のりになります。「プラケット」はテラス、「メリア」は水辺の花という意味で、ベンメリアは「水辺の花のテラス」と呼ばれておりました。

このベンメリアからは、他の遺跡のように碑刻文が見つかっていないので、いつだれが何の目的で造られたかが、はっきりしていません。

ですが、寺院の建築様式、レリーフの女神像、三重の回廊、十字型の中庭の配置などがアンコール・ワットと非常に良く似ていることから、スーリヤ・ヴァルマン2世とその前の複数の王さまたちによって建設されたと考えられています。

寺院の大きさは、東西1200メートル、南北900メートル、周囲が4.2キロメートルになり、幅45メートルのお濠によって囲まれています。

近くには、東西1500メートル、南北600メートルのバライがあり、旧寺院境内の周壁を含めると、108ヘクタールの広さになり、アンコール・ワットの約半分のおおきさになります。

建設目的に関しては、いくつかの説があり、アンコールの都とアンコール五大遺跡の一つコンボンスヴァイの大プリア・カーンとの中間地点になることから、軍隊の休憩・集合場所であったのではないかと？商業的に重要な役割をはたしていたのではないかと？といった説が有力です。

2002年頃から、一般の観光客も訪れることができるようになりましたが、当時は、崩れた砂岩をよじ登ったりしなければなりませんでした。現在では、板組みの階段や渡り廊下が作られ見学しやすくなりました。

寺院内部には、沢山のレリーフはございませんが、いくつかの彫刻が残されています

タ・プローム寺院では、植物が遺跡を破壊する様子をご覧いただきましたが、このベンメリアは、1868年にフランスの調査団が始めてアンコール遺跡を訪れたときの遺跡の崩壊状態に非常に近いといわれています。

★ ちなみに、アンコール五大遺跡とは

7世紀前半、イーシャナ・ヴァルマン1世によって造営された ①「 サンポール・プレイ・クック都城 」

928年、アンコールから遷都したジャヤ・ヴァルマン4世によって造営された ②「 コーケー都城 」

12世紀後半、ジャヤ・ヴァルマン7世と父ダラーニンドラ・ヴァルマン2世の治世に造営されたといわれる

③「 コンボン・スヴァイの大プリア・カーン 」

13世紀初め、ジャヤ・ヴァルマン7世によって造営された ④「 バンテアイ・チュマール 」

そして、この 東のアンコール・ワットと呼ばれる⑤「 ベンメリア 」のことを言います。

※ 現在、道路の状況も良くなり半日で市内に戻って来れることもあり、昼食は市内レストランで召し上がっていただくケースが多いです。

トンレサップ湖観光

行程(参考例)				
ホテル出発 09:00、15:00 発	==	船着場着 9:30、15:30 着	——トンレサップ湖遊覧—— (60 分)	船着場発 == ホテル到着 11:00、17:00 発 11:30、17:30 着
★ == は車での移動、 ——はボートでの移動になります。				
所要時間	約2. 5時間		食事	無し



カンボジアの中心部に位置する巨大な湖トンレサップは、ナマズ・雷魚・鯉を代表に東南アジアで最も淡水魚の種類が多いと言われ(約500種類以上)、世界でも有数の漁獲高を誇っています。

トンレサップ湖は、乾期と雨期でその姿を完全に変わってしまいます。

乾期で、湖面の面積は約3, 000平方キロメートル、日本最大の湖・琵琶湖の面積が674平方キロメートルですから、琵琶湖の約4. 5倍になります。

雨期には、乾期の約3倍、9, 000平方メートルに面積が膨れ上がり、琵琶湖の13倍の大きさになります。

なぜこのようになるかというと、トンレサップ湖からプノンペンへ流れているトンレサップ川は、プノンペンで、メコン河と合流していますが、雨期には、メコン河の水が逆流し、トンレサップ川をさかのぼってトンレサップ湖へ流れてきます。

また、上流からも雨水が流れ込んでくるため、湖は横に膨れ上がり乾期の3倍もの大きさに変貌してゆきます。

雨期の増水期は、湖周辺の浸水林(water forest) に淡水魚が産卵するため禁漁期間となります。

乾期に入り、湖の水位が下がると、浸水林で育っていた魚たちが活動を初め、漁が開始されます。

漁業の最盛期には 毎日数十トンと水揚げがされ、プラホック作りが始まると、あたり一体、強烈な魚の匂いが漂います。

トンレサップ湖では、水上生活者の様子もご覧いただけます。

湖全体では、五つの水上生活者の村が点在し、総人口は3 0 0万人にもなるといわれております。

シェムリアップ市内から、一番近い水上生活者の村(チュンクニア村)は、五つの村のなかで 一番小さい村になります。

水上生活者の村には、学校、病院、商店、レストラン、警察など、地上の生活と同じ施設があり、学校の2階の運動場で遊んでいる子供達、家から湖に飛び込んで水遊びをしている子供達、その横では、皿を洗ったり、顔を洗っている人々の姿、小船に商品を積んで行商している人々の姿など さまざまな光景がご覧いただけます。

また、この巨大な湖トンレサップ湖には、プレクトアール鳥獣保護区(Prek toal)があり、バードウォッチングを楽しめます。

1 9 9 7年、ユネスコは トンレサップ湖とその周辺を 「 生物圏保全地区 」と宣言し、保護プロジェクトが開始されました。

シェムリアップ市内のポート乗り場から、1時間程ボートに揺られると、鳥獣保護区に到着いたします。(別途、入場料必要)

プレクトアール鳥獣保護区は、ハイイロペリカン、コウノトリ(オオハゲコウ)といった大型の渡り鳥の繁殖場所として、貴重な保護区となっております。

コンボン・クリアン(Kampong Khleang)/コンボン・プルック(Kampong Phluk)

水上生活者(Floating Village)観光

行程(参考例)			
①□ ホテル出発 == コンボン・クリアン (トンレサップ湖クルーズ) = ホテル着 07:30、13:30 発 09:00、15:00 頃着 12:30、18:30 頃着			
②ホテル出発 == コンボン・プルック (トンレサップ湖クルーズ) = ホテル着 08:00、14:00 発 09:15、15:15 頃着 12:30、18:30 頃着			
★ == は車での移動、.....は徒歩での移動になります。 ☆ 国道から村へ向かう道路状況により所要時間に変更になる場合がございます。			
所要時間	約 5 時間	食事	無

皆様おなじみの水上生活者を見学できる「トンレサップ湖クルーズ」、今回ご紹介する二つの村 コンボン・クリアン村(Kampong Khleang Village)は人口約2万人、コンボン・プルック村(Kampong Phluk village)は少し小さな規模となりますが、通常御案内しているチョンクニア村(人口約5千人)よりも大きく、高さ10メートルを超える高床式住居が立ち並び、雨季と乾季でその村の姿がまったく違い、季節を変えて2度お越しいただきたい場所です。観光客も欧米人が主体ですがまだまだ少なく、一味違ったトンレサップ湖クルーズをお楽しみいただけます。コンボン・プルック村はロリュオス遺跡群から湖方向へ移動、コンボン・クリアン村はベンメリア遺跡から湖方向へ移動します。

(注) 湖の水量によって村によっては乗船できない場合がございますので、御希望の際はお問合せねがいます。

湖が小さい(水量が少ない)時のコンボン・プルック村の様子 (6月撮影)



湖が大きい(水量が多い)時のコンボン・プルック村の様子 (10月末撮影)



湖が小さい(水量が少ない)時のコンボン・クリアン村の様子 (7月撮影)



通常御案内している、シェムリアップ市内から30分ほどのチョンクニア村はここになります。ボート乗り場が新しくなりました。



ここがコンボン・プルック村です。ロリュオス遺跡群から国道6号を進み右折し、車で30分ほど。

ここがコンボン・クリアン村です。国道をプノンベン方向に進み左折するとベンメリアへ続く道。国道6号をさらに進み右折し、車で30分ほど。



オプション ツアーリスト

加藤

S.M.I.TRAVEL CAMBODIA

オプションツアーリスト



OPTIONAL TOUR (JAPANESE SPEAKING GUIDE TOUR)

01APR.2014 - 30SEP.2014

★アンコール・ワット & アンコール・トム & タ・プロム1日観光			★
午前中はアンコール・トム、タ・プロム寺院へ、午後はアンコール・ワットとバケン山からの夕日観光。(注)バケン山の夕日鑑賞は天候によってはご案内できない場合がございます。また、日没時刻により、ホテル帰着時刻が前後いたします。			1名様
			USD85
			2名様
			USD60
8:30	ホテル出発		
09:00-11:20	アンコール・トム		
	南大門	15分	
	バイヨン寺院	50分	
	パープオン寺院	10分	
	ピミアナカス	15分	
	象のテラス	10分	
	らい王のテラス	10分	
11:30-12:15	タ・プロム寺院	45分	
12:30	昼食		クメール料理
13:30	ホテルに戻り休憩		
14:30	ホテル出発		
15:00-17:00	アンコール・ワット	120分	
17:10-18:20	バケン山にて夕日鑑賞	40分	
18:50	ホテル帰着		
備考	＊バケン山の夕日鑑賞は天候によってはご案内できない場合がございます ＊日没時刻によりホテル帰着時刻が前後いたします ＊バケン山の登山口は17:30で閉まります		

★アンコール・ワット半日観光			★
1113年、スーリヤ・ヴァルマン2世によって建造されたヒンドゥー教寺院、アンコール・ワットの見所を半日で観光。その後バケン山に登って夕日を鑑賞します。			1名様
			USD55
			2名様
			USD40
14:30	ホテル出発		
15:00-17:00	アンコール・ワット	120分	
17:10-18:20	バケン山にて夕日鑑賞	40分	
18:50	ホテル帰着		
備考	＊バケン山の夕日鑑賞は天候によってはご案内できない場合がございます ＊日没時刻によりホテル帰着時刻が前後いたします ＊バケン山の登山口は17:30で閉まります		

★アンコール・トム半日観光			★
1181年、ジャヤ・ヴァルマン7世によって建造されたクメール王国最大の都。クメール王国の歴代の王の中ではめずらしく仏教を信仰していた王が創り上げた都には、非常に慈悲深かったといわれる王の寛容な心が、いたるところにあらわされております。			1名様
			USD55
			2名様
			USD40
08:30 or 14:30	ホテル出発		
09:00-11:30 or 15:00-17:30	アンコール・トム		
	南大門	15分	
	バイヨン寺院	50分	
	パープオン寺院	10分	
	ピミアナカス	15分	
	象のテラス	10分	
	らい王のテラス	10分	
12:00 or 1800	ホテル帰着		

★アンコール周辺遺跡小回り半日観光				★
ミニ・アンコール・ワットと呼ばれる「トマノン寺院」、建設工事が中断したままの「タ・ケウ寺院」、植物と遺跡が一体となった光景が圧巻の「タ・プローム寺院」、王様専用の沐浴池「スラスラン」など見所満載です。			1名様	USD55
			2名様	USD40
08:30 or 14:30	ホテル出発			
09:00 or 15:00	トマノン寺院・ ヤウ・サイ・デヴォダ	チ 10分	下車	
	スピアン・トモー		車窓	
	タ・ケウ寺院		車窓	
09:20 or 15:20	タ・プローム寺院	50分	下車	
10:20 or 16:20	バンテアイ・クデイ寺院	30分	下車	
	スラスラン	10分	下車	
11:20 or 17:20	ブラサット・クラヴァン	15分	下車	
12:00 or 18:00	ホテル帰着			

★アンコール周辺遺跡大回り半日観光				★
1191年ジャヤ・ヴァルマン7世が宿敵チャンバとの戦いで勝利し記念として建立した仏教寺院「ブリア・カーン」、観音様の慈悲を与えることを目的として建造された「ニャック・ポアン」、イチジクの木が塔門の四面仏に絡みついた姿が印象的な「タ・ソム」など。			1名様	USD55
			2名様	USD40
08:30 or 14:30	ホテル出発			
09:00 or 15:00	ブリア・カーン	50分		
09:55 or 15:55	ニャック・ポアン	45分		
10:45 or 16:45	タ・ソム	20分		
11:05 or 17:05	東メボン	20分		
11:25 or 17:25	ブレ・ループ	20分		
12:00 or 18:00	ホテル帰着			

★ロリュオス遺跡群半日観光				★
アンコール遺跡のなかで、もっとも古い遺跡群を観光します。			1名様	USD55
			2名様	USD40
09:00 or 15:00	ホテル出発			
09:30 or 15:30	ロレイ祠堂	20分		
10:00 or 16:00	ブリア・コー寺院	20分		
10:40 or 16:40	バコン寺院	40分		
11:40 or 17:40	ホテル帰着			

★ロリュオス遺跡群半日観光とスバエク(影絵)人形作り体験				★
アンコール遺跡のなかで、もっとも古い遺跡群のロリュオス遺跡群とシェムリアップの伝統芸能であるスバエク(影絵)で使われる人形作りを体験します。			1名様	USD65
			2名様	USD50
08:30 or 14:30	ホテル出発			
09:00 or 15:00	ロレイ祠堂	20分		
09:30 or 15:30	ブリア・コー寺院	20分		
10:00 or 16:00	クメール・アート・カービング にてスバエク人形作り	40分		
10:45 or 16:45	バコン寺院	30分		
11:45 or 17:45	ホテル帰着			

★バンテアイ・スレイ半日観光			★
バラ色の砂岩に刻まれた「東洋のモナリザ」は必見です。		1名様	USD65
		2名様	USD45
09:00 or 15:00	ホテル出発		
10:00 or 16:00	バンテアイ・スレイ	60分（トイレ休憩含む）	
12:00 or 18:00	ホテル帰着		

トンレサップ湖半日観光			
東南アジア最大の湖「トンレサップ湖」をボートで巡り、水上生活の様子を見学します。		1名様	USD65
		2名様	USD45
09:00 or 15:00	ホテル出発		
09:30 or 15:00	トンレサップ湖	60分ほどボートで遊覧します	
11:30 or 17:30	ホテル帰着		

シェムリアップ市内半日観光			
シャンティエコー（アーティザンダンコール）伝統工芸品技術学校、クメール伝統織物研究所、オールドマーケットなど		1名様	USD55
		2名様	USD40
09:00 or 15:00	ホテル出発		
09:20 or 15:20	IKTT クメール伝統織物研究所	20分	
09:45 or 15:45	アーティザンダンコール（ シャンティエコー伝統工芸品 技術学校）	40分	
10:30 or 16:30	オールドマーケット	40分	
11:20 or 17:20	ホテル帰着		

シェムリアップ市内半日観光（アンコール国立博物館入場券付き）			
アンコール国立博物館、シャンティエコー（アーティザンアンコール）伝統工芸品技術学校、クメール伝統織物研究所、オールドマーケットなど		1名様	USD65
		2名様	USD50
08:30 or 14:30	ホテル出発		
08:50 or 14:50	IKTT クメール伝統織物研究所	20分	
09:15 or 15:15	アーティザンダンコール（ シャンティエコー伝統工芸品 技術学校）	40分	
10:00 or 16:00	オールドマーケット	40分	
10:45 or 16:45	アンコール国立博物館	60分	
12:00 or 18:00	ホテル帰着		

博物館巡り半日観光			
アンコール国立博物館、シハヌーク・イオン博物館、バイヨン・インフォメーション・センターを回ります。		1名様	USD75
		2名様	USD60
08:30 or 14:30	ホテル出発		
08:50 or 14:50	シハヌーク・イオン博物館		
09:30 or 15:30	バイヨン・インフォメーション・センター		
10:10 or 16:10	アンコール国立博物館		
11:30 or 17:30	ホテル帰着		
備考	*シハヌーク・イオン博物館は月、祝日が、バイヨン・インフォメーション・センターは木、日、祝日が休館です		

シルクファーム半日観光			
桑の栽培から蚕の育成、機織までの作業が見られるシルクファームの見学と機織もしくは絵付けの体験つきです。		1名様	USD75
		2名様	USD60
08:30 or 14:30	ホテル出発		
09:00 or 15:00	シルクファーム 機織またはシルクの絵付け 体験 ファーム内見学		
12:00 or 18:00	ホテル帰着		

★アンコールワットサンライズ			★
夜明け前にホテルを出発し、アンコール・ワット西塔門にて朝日を鑑賞、荘厳な朝日の情景は必見です。		1名様	USD30
		2名様	USD18
5:00	ホテル出発		
05:30-06:30	アンコール・ワットにて日の出鑑賞		
7:00	ホテル帰着		
備考	* 日の出に合わせてホテル出発と帰着時間は前後します * 雨天決行です		

★クバルスピアン半日観光			★
クーレン山脈の麓にあるクバルスピアン。駐車場から40分程度山を登って、川底に彫られた清流に眠る神々の彫刻を見学します。		1名様	USD100
		2名様	USD70
8:00	ホテル出発		
09:30-11:30	クバルスピアン駐車場 クバルスピアン、 千体仏リンガ クバルスピアン駐車場	駐車場から千体仏リンガまで徒歩で約40分 60分	
12:00	ホテル帰着		

★クバルスピアン & バンテアイ・スレイ 1日観光(昼食付き)			★
「東洋のモナリザ」バンテアイ・スレイと「水中遺跡」クバルスピアンへご案内		1名様	USD135
		2名様	USD90
8:00	ホテル出発		
09:30-11:30	クバルスピアン	60分	
11:45-13:20	バンテアイ・スレイ 昼食	30分 レストラン小屋にて弁当	
14:30	ホテル帰着		

★クバルスピアン & プノンクーレン1日観光(昼食付き)			★
クーレン山とクバルスピアンを1日で巡ります		1名様	USD210
		2名様	USD150
8:00	ホテル出発		
10:00-13:00	クーレン山 川底のリング群 ブリア・トム寺院 涅槃物像)	(15分	
	滝 昼食	ピクニック小屋(カンボジア式東屋)にて弁当	
14:00-16:00	クバルスピアン	60分	
17:30	ホテル帰着		
備考	* クーレン山の入山料を含みます。		

★クバルスピアン & ベンメリア1日観光(昼食付き)			
ベンメリアとクバルスピアンを効率良く観光		1名様	USD200
		2名様	USD140
8:00	ホテル出発		
09:30-12:30	クバルスピアン	60分	
	昼食	レストラン小屋にて弁当	
14:00-15:00	ベンメリア	60分	
16:20	ホテル帰着		
備考	* ベンメリア遺跡入場券を含みます		

プノンクーレン1日観光(昼食付き)			
アンコール王朝発祥の地、クーレン山をじっくりと観光。		1名様	USD160
		2名様	USD110
8:00	ホテル出発		
10:00-13:00	クーレン山		
	川底のリング群	15分	
	ブリア・トム寺院 (涅槃仏像)	60分	
	滝	15分	
	昼食	ピクニック小屋(カンボジア式東屋)にて弁当	
15:00	ホテル帰着		
備考	*クーレン山の入山料を含みます		

ベンメリア半日観光			
「東のアンコール・ワット」と呼ばれるベンメリア遺跡を観光。密林に眠る巨大遺跡を訪ねます。		1名様	USD120
		2名様	USD80
8:20	ホテル出発		
09:40-10:40	ベンメリア遺跡	60分	
12:00	ホテル帰着		
備考	* ベンメリア遺跡入場券を含みます		

ベンメリア & プノンクーレン 1日観光(昼食付き)			
人気の秘境を1日かけて観光		1名様	USD230
		2名様	USD160
08:00	ホテル出発		
10:00-13:00	クーレン山 川底のリング群 / ブリア・トム寺院(涅槃仏像) / 滝 / 昼食	15分 / 60分 / 15分 ピクニック小屋(カンボジア式東屋)にて弁当	
14:30-15:30	ベンメリア遺跡	60分	
16:50	ホテル帰着		
備考	* クーレン山の入山料とベンメリア遺跡入場料を含みます		

コーケー遺跡群 1日観光(昼食付き)			
シエムリアップから北東へ約100km離れた秘境、アンコール5大遺跡の1つであるコーケー遺跡群を観光		1名様	USD180
		2名様	USD125
07:00	ホテル出発		
10:00	コーケー遺跡群		
	ブラサット・プラム	10分	
	ブラサット・ニエン・クマウ	10分	
	ブラサット・ドムレイ	15分	
	ブラサット・クラチョップ	15分	
	リンガ・シリ	10分	
	ブラサット・バラン	10分	
	ブラサット・トム	60分	
	昼食	弁当	
	ラ・ハール(バライ)		
14:30	アンドレ・ブレン	5分	
17:30	ホテル帰着		

コーケー遺跡群とベンメリア 1日観光(昼食付き)			
ベンメリア遺跡とコーケー遺跡群を観光		1名様	USD240
		2名様	USD165
07:00	ホテル出発		
10:00-14:00	コーケー遺跡群		
	ブラサット・プラム		
	ブラサット・ニエン・クマウ		
	ブラサット・ドムレイ		
	ブラサット・クラチョップ		
	ブラサット・バラン		
	ブラサット・トム		
	昼食		
15:00	石切場		
15:20	ベンメリア		
18:00	ホテル帰着		

カー&ガイド 半日チャーター			
シエムリアップ市内のお好きな場所へ日本語ガイドと一緒に行的ってみませんか？		1名様	USD55
		2名様	USD40
08:30 or 14:30	ホテル出発		
	シエムリアップ市内		
12:00 or 18:00	ホテル帰着		
備考	＊ 訪問場所によっては別途料金が必要になります		
	＊ 利用時間延長ご希望の場合は、別途追加料金が必要になりますのでお問い合わせください		

カー&ガイド 一日チャーター				
シエムリアップ市内のお好きな場所へ日本語ガイドと一緒に行的ってみませんか？			1名様	USD85
			2名様	USD60
8:30	ホテル出発			
	シエムリアップ市内			
18:00	ホテル帰着			
備考	* 訪問場所によっては別途料金が必要になります。 * ドライバー・ガイドの昼食休憩(1時間)が含まれます。 * 利用時間延長ご希望の場合は、別途追加料金が必要になりますのでお問い合わせください			

ナイト・マーケット散策				
夕食後、人気急上昇中のナイト・マーケットへご案内。			1名様	USD25
			2名様	USD15
19:30	市内レストランまたは ホテル出発			
	ナイト・マーケット散策	30分		
20:30	ホテル帰着			
備考	* 市内レストランまたはホテル出発時刻は変更可能です			

バー・ストリート散策				
深夜まで沢山のツーリストで賑わっているバー・ストリートへご案内。(1ドリンク付)			1名様	USD35
			2名様	USD20
19:00	市内レストランまたは ホテル出発			
	バー・ストリート散策	30分(気に入ったお店で1ドリンクサービス)		
20:30	ホテル帰着			
備考	* 市内レストランまたはホテル出発時刻は変更可能です * 1ドリンクは、ビールやソフトドリンクなどになります			

アンコール国立博物館見学(ガイド、送迎付き)			
2007年オープン of シェムリアップ初の近代的博物館で、クメール美術を映像とナレーションを交えて鑑賞し、アンコールの歴史に深く触れます。		1名様	USD65
		2名様	USD50
13:00	ホテル出発		
	アンコール国立博物館	90分	
15:00	ホテル帰着		
備考	* ホテル出発時刻は変更可能です		
	* 館内の説明は日本語オーディオガイドもご利用いただけます(別料金)		

カンボジア民族文化村見学(ガイド、送迎付き)				
カンボジアの少数民族の村や踊り、各種アトラクションをお楽しみいただけます。			1名様	USD64
			2名様	USD49
14:30	ホテル出発			
	カンボジア民族文化村	3時間		
18:00	ホテル帰着			
備考	* ホテル出発時刻は変更可能です			
	* 民族村のアトラクションは時期により変更になる場合があります			

アプサラダンスショー(送迎付き)				
市内レストランにて、カンボジアの古典・民族舞踊ショーとビュッフェディナーをお楽しみください。			1名様	USD40
			2名様	USD25
18:30	ホテル出発			
	市内レストラン	90分(舞踊ショーは19:30から約1時間)		
20:45	ホテル帰着			

市内レストランにて昼食(送迎付き)			
市内レストランにて、カンボジア料理、中華料理やアジアンビュッフェなどお好きなものをお楽しみください。 *食事内容の詳細は担当ガイドにお問い合わせください。		1名様	USD35
		2名様	USD20
12:00	ホテル出発		
	市内レストラン	60分	
13:30	ホテル帰着		

市内レストランにて夕食(送迎付き)			
市内レストランにて、カンボジア料理、中華料理やアジアンビュッフェなど好きなものをお楽しみください。 *食事内容の詳細は担当ガイドにお問い合わせください。		1名様	USD38
		2名様	USD23
18:00	ホテル出発		
	市内レストラン	60分	
19:30	ホテル帰着		

アフタヌーン・ティー（ハイ・ティー、送迎付き）				
市内ホテルにて、優雅なハイ・ティーで一時をお過ごしください。			1名様	下段左
			2名様	下段右
14:30	ホテル出発			
	市内レストラン		90分	
16:30	ホテル帰着			
ホテル名		1名様料金		2名様料金
ラッフルズ・グランド・アンコール		USD38		USD23
ソフィテル・アンコール・ボキットラー		USD38		USD23
ル・メリディアン・アンコール		USD40		USD25
アンコール・パレス		USD35		USD20
ビクトリア・アンコール		USD38		USD23
FCCアンコール		USD32		USD17

トラディショナルマッサージ(送迎付き)		
好きな時間をご指定ください。	1時間	USD20
	2時間	USD30

スマイル・オブ・アンコール観覧(A席、食事、送迎付き)				
市内レストランにて、カンボジアの古典・民族舞踊ショーとビュッフェディナーをお楽しみください。			1名様	USD60
			2名様	USD50
18:30	ホテル出発			
	スマイル・オブ・アンコール会場	90分(舞踊ショーは19:30から約1時間強)		
21:00	ホテル帰着			

スマイル・オブ・アンコール観覧(B席、食事、送迎付き)				
市内レストランにて、カンボジアの古典・民族舞踊ショーとビュッフェディナーをお楽しみください。			1名様	USD50
			2名様	USD40
18:30	ホテル出発			
	スマイル・オブ・アンコール会場	90分(舞踊ショーは19:30から約1時間強)		
21:00	ホテル帰着			

* ★印コースの遺跡観光には入場券が別途必要です。

アンコール遺跡群入場券:1日券=USD20 / 3日=USD40 / 1週間券=USD60

* 昼食付コースですが、食事は現地事情により、レストラン利用ではなく、お弁当をご用意する場合があります。

* サンライズ、サンセットですが、天候によりきれいにご覧頂けない場合もあります。また、中止になる場合もあります。

* 現地にて販売、集金した場合の料金提示となります。

* 道路状況によりホテル帰着時間が変わる場合があります。

* 季節によりスケジュールが変更になる場合があります。

お得なチケット			
施設名	概要	料金	営業時間
アンコール国立博物館	クメール美術を映像とナレーションを交えて鑑賞。	USD12	08:30-18:30
カンボジア民族文化村	カンボジアの伝統的なダンスショー、ゲームをお楽しみください。	USD11	09:00-21:00
アンコール・コンギア・ポート (スタンダード)	アンコール・トムのお堀で約30分の遊覧。(1ドリンク付き) 観光の途中にいかがでしょうか。	USD15	-
アンコール・コンギア・ポート(VIP)	スタンダードに軽食(ハイティー風)が付いています。	USD54	-
スマイル・オブ・アンコール(SEAT A)	アンコールの歴史を題材にしたミュージカル。	USD28	19:30-20:40
スマイル・オブ・アンコール(SEAT B)	アンコールの歴史を題材にしたミュージカル。	USD22	19:30-20:40
ロサナ・ブロードウェイ(VIP)	カンボジアでも登場、オカマショー	USD30	19:30-20:40
ロサナ・ブロードウェイ(DLX)	カンボジアでも登場、オカマショー	USD25	19:30-20:40

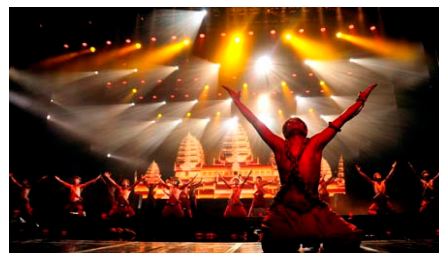
* 送迎はついておりません。



アンコール国立博物館



カンボジア文化村



スマイル・オブ・アンコール



ロサナ・ブロードウェイ

ホテル紹介

加藤

S.M.I.TRAVEL CAMBODIA

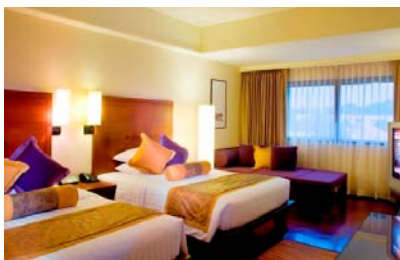
ホテル紹介

ル メリディアン アンコール

Le Meridien Angkor



外観



スーペリア



ロイヤル・アンコール・カフェ

◆ホテル情報

住所	Vithei Charles De Gaule, Khum Svay Dang Kum, Siem Reap, Kingdom of Cam,bodia		
ウェブサイト	www.lemeriaienangkor.com		
電話	855 (0)63 963900	日本人スタッフ	セールス1名 ゲストリレーション3名
クラス	★★★★★	プール	SPA棟 屋外 06:00-22:00
ロケーション	アンコールワットまで10分(いちばん近いホテル)	スパ	SPA棟 ル・メリディアン・スパ 10:00-22:00
空港からのアクセス	車で15-20分程度	フィットネス	SPA棟 06:00-22:00
総客室数	213室	朝食	G階 ロイヤル・アンコール・カフェ 06:00-10:00
階数	3階	エグゼクティブラウンジ	なし
ロビー	G階	喫煙	一般スペース不可(喫煙場所あり)
開業年(最新改装年)	2005年	周辺情報	コンビニなど徒歩5分圏内になし
チェックイン/チェックアウト	14:00/12:00		
備考	アンコールワットを模した造りの外観、遺跡群に一番近いロケーション		

◆客室情報

鍵	カードキー	コーヒー&紅茶	○	シャワールーム	○	インターネット接続	○(\$2.2/H)
セイフティーボックス	○	湯沸し	○	ドライヤー	○	館内日本語案内	○
ミニバー	○	バスローブ	○	シャンプーと石鹸	○	NHK(日本語)	○
冷蔵庫	○	スリッパ	○	歯ブラシ	○	日本語新聞	△(売店販売\$3.85)
無料飲料水	○	バスタブ	○	髭剃り	RQ		

◆主な客室

部屋	サイズ	客室数	ツインの数	備考
スーペリア	36㎡	101	73	喫煙(DBL 13部屋、TWN 34部屋)
デラックス	38㎡	104	71	喫煙(DBL 14部屋、TWN 47部屋)
コーナースイート	76㎡	7	2	喫煙(DBL 2部屋、TWN3部屋)
グランドスイート	161㎡	1	なし	喫煙

◆主なレストラン

レストラン名	種類	場所	席数	営業時間	備考
アンコール・ロイヤル・カフェ	インターナショナル	G階	150	BLD	
ランジェロ	イタリアン	G階	40	18:00-23:00	
ナーガ・バー	カクテル・スナック	G階	63	18:00-23:00	
ロビー・ラウンジ	ドリンク、軽食	G階	68	09:00-23:00	アフタヌーンティー 14:00-17:00
プール・バー	カクテル、スナック	G階	30	10:00-19:00	

◆主なバンケット

宴会場名	場所	サイズ	高さ	カクテル	バンケット	シアター	クラスルーム	備考
タラールーム	1階	310㎡	3m	220	140	200	140	

◆現地駐在員のコメント◆

SMI団体お勧めデラックス。フロアごとの部屋カテゴリー(SUPが3階、DLXが2階)となっており、ビューの違いもほぼございませんので条件をそろえるのに非常に都合がよいです。TWNの数も多く、日本人客には喜ばれると思います。ホテル内宴会場のほかに、ホテル内の中庭やパームガーデンを使用したパーティーアレンジも可能、遺跡でのパーティー・ハンドリングにも定評ございます。また、日本人スタッフを多く抱えており日本人のお客様にはなにかと心強いです

※情報は予告なく変更する可能性があります。

ソフィテル・アンコール・ポキートラ

Sofitel Angkor Phokeethra



外観



スーペリア



シタデルレストラン

◆ホテル情報

住所	Vithei Charles De Gaulle, Khum Svay Dang Kum, Siem Reap, Cambodia		
ウェブサイト	www.sofitel.com/3123		
電話	855 (0)63 964600	日本人スタッフ	ゲストリレーション2名
クラス	★★★★★	プール	1階 屋外 08:00-22:00
ロケーション	市内北側、アンコールワットより車で15分	スパ	SPA棟 SO SPA 10:00-22:00
空港からのアクセス	20分程度	フィットネス	SPA棟 06:00-23:00
総客室数	238室	朝食	1階 シタデルレストラン 06:00-10:00
階数	3階(1,2,3)	エグゼクティブラウンジ	なし
ロビー	1階	喫煙	一般スペース不可(屋外喫煙場所あり)
開業年(最新改装年)	2000年(2010年)	周辺情報	コンビニなど徒歩5分圏内になし
チェックイン/チェックアウト	14:00/12:00		
備考	ホテルから40分ほどの位置にゴルフ場も所有		

◆客室情報

鍵	カードキー	コーヒー&紅茶	○	シャワールーム	○	インターネット接続	○(FOC)
セイフティボックス	○	湯沸し	○	ドライヤー	○	館内日本語案内	○
ミニバー	○	バスローブ	○	シャンプーと石鹸	○	NHK(日本語)	○
冷蔵庫	○	スリッパ	○	歯ブラシ	○	日本語新聞	△(ロビーバー)
無料飲料水	○	バスタブ	○	髭剃り	○		

◆主な客室

部屋	サイズ	客室数	ツインの数	備考
スーペリア	35㎡	136	87	全室スーペリア棟
ラグジュアリー	45㎡	88	26	ラグジュアリー棟、一部スーペリア棟(スーペリア1階のプール、ガーデンビュー部分)
ジュニアスイート	50-70㎡	6	1	全室ラグジュアリー棟
プレステージスイート	70-90㎡	8	1	スーペリア棟(2室、70㎡)、ラグジュアリー棟(6室、90㎡)
オペラスuite	140㎡	1	なし	スーペリア棟

◆主なレストラン

レストラン名	種類	場所	席数	営業時間	備考
シタデル レストラン	インターナショナル	1階	170	BLD	喫煙エリアあり(雨天の場合は同レストランにて伝統舞踏)
マーホット ドリーム	フレンチ&クメール	1階、別棟	40	D	禁煙
ロイヤル コート	アジア&クメールBBQ	1階、屋外	75	D	ブッフェアレンジ、伝統舞踏ショー開催
リーフ オン ザ ストーン	日本	1階	8	LD	シタデルに併設
エクスプローラーズ テイル	バー、軽食	1階	50	06:00-24:00	ハイティーのアレンジ可能

◆主なバンケット

宴会場名	場所	サイズ	高さ	カクテル	バンケット	シアター	クラスルーム	備考
ポキートラ ボールルーム	G階	400㎡	15m	300	240	300	210	ホテルとは別棟
ナーガ	G階	100㎡	8m	75	50	60	40	仕切り抜きでレインボーと合体可
レインボー	G階	100㎡	8m	75	50	60	40	仕切り抜きでナーガと合体可

◆現地駐在員のコメント◆

SMIIにて中、小団体でのお勧めデラックスホテル。大きなスイミングプールとガーデンを持ち、ゆっくりとご滞在いただけます。
また、プールサイドやバンケットを使用したパーティーアレンジも得意としており、ケータリングで遺跡でのパーティーアレンジのハンドリングにも定評ございます。
また、同ホテルマネージメントでアジアツアー"カンボジアオープン"の舞台となるポキートラCCを運営しており、ゴルフ

※情報は予告なく変更する可能性があります。

ソカー・アンコール

SOKHA ANGKOR



外観



デラックス ルーム



ロータス

◆ホテル情報

住所	National road6 & Sivatha Street Junction, Phoum Taphoul, Svay Dangkoum, Siem Reap		
ウェブサイト	http://sokhahotels.com/siemreap/		
電話	855 (0) 63 969 999	日本人スタッフ	ゲストリレーション1名
クラス	★★★★★	プール	1階 屋外 08:00-18:00
ロケーション	市内中心部。国道6号線とシヴァタ通り交差点	スパ	B1階 ジャスミンスパ09:00-22:00 (20:00受付終了)
空港からのアクセス	25分程度	フィットネス	1階 07:00-22:00
総客室数	276室	朝食	1階 ロータス 06:00-10:30
階数	5階	エグゼクティブラウンジ	無
ロビー	1階 ロビー階 (レセプション)	喫煙	可
開業年(最新改装年)	2003年	周辺情報	コンビニ徒歩約1分
チェックイン/チェックアウト	14:00/12:00		
備考			

◆客室情報

鍵	カードキー	コーヒー&紅茶	○	シャワールーム	○	インターネット接続	○(無料)
セーフティボックス	○	湯沸し	○	ドライヤー	○	館内日本語案内	○(チェックイン時手渡し)
ミニバー	○	バスローブ	○	シャンプーと石鹸	○	NHK(日本語)	○
冷蔵庫	○	スリッパ	○	歯ブラシ	○	日本語新聞	×
無料飲料水	○	バスタブ	○	髭剃り	○		

◆主な客室

部屋	サイズ	客室数	ツインの数	備考
デラックス・シティ・ビュー	38㎡	144	103	インターネット利用時は接続コード利用
デラックス・プール・ビュー	38㎡	96	55	
クラブ・スイート	60㎡	24	なし	
ジュニア・スイート	64㎡	4	なし	
エグゼクティブ・スイート	83㎡	6	なし	
アプサラ・スイート	110㎡	1	なし	
ロイヤル・ソカー・スイート	320㎡	1	なし	

◆主なレストラン

レストラン名	種類	場所	席数	営業時間	備考
ロータス	インターナショナル	1階	182	BLD	
ル・チャントゥー	アジア&西洋料理	1階	50	D	
竹園	日本料理	1階	51	LD	
チャンパ・ラウンジ	軽食&飲み物	1階	66	BLD	
アイリッシュ・パブ	パブ	B1階	110	D	16:00-01:00

◆主なバンケット

宴会場名	場所	サイズ	高さ	カクテル	バンケット	シアター	クラスルーム	備考
ナバライボールルーム	L階	978㎡	5.1m	1,500	700	1,200	500	
デュシットホール	L階	676㎡	4.3m	500	400	450	250	
サラデン	L階	124㎡	3.5m	100	80	100	60	

◆現地駐在員のコメント◆

ホテル内のレストラン数はシェムリアップ市内で一番。エレベーターは、レセプション側(東側)A/B機とロータスレストラン側(西側)C/D機と2箇所に分かれており、西側 エレベーター近くのシティ・ビューールームおよび、西側・東側ともにエレベーター近くのプール・ビューールームは窓の外に建物があり、ビューが良くないので、グループのルームアサイン時には注意が必要。
政府高官、海外からのVIP客の宿泊および会議がよく行われ、その際には、ホテルロビーにてセキュリティチェックが行われることも多いです。

※情報は予告なく変更する可能性があります。

プリンス・ドゥ・アンコールホテル&スパ

Prince D'angkor Hotel & Spa



外観



スーペリア



ブルーダイヤモンド

◆ホテル情報

住所	Sivatha Blvd, Mondul 2, Sangkat Svay Dangkm, Siem Reap		
ウェブサイト	www.princelangkor.com		
電話	855 (0) 63 763 888	日本人スタッフ	ゲストリレーション1名
クラス	★★★★☆	プール	G階 屋外 06:00-21:00
ロケーション	市内中心部。シヴァタ通り沿い。	スパ	G階 オバルスパ 12:00-24:00(受付23:00まで)
空港からのアクセス	25分程度	フィットネス	G階 06:00-21:00
総客室数	222室	朝食	1階 ブルーダイヤモンド 06:00-10:00
階数	5階	エグゼクティブラウンジ	無
ロビー	G階 ロビー階(レセプション)	喫煙	一般スペース不可(喫煙場所あり)
開業年(最新改装年)	2004年	周辺情報	コンビニ徒歩約1分
チェックイン/チェックアウト	14:00/12:00		
備考			

◆客室情報

鍵	カードキー	コーヒー&紅茶	○	シャワールーム	○	インターネット接続	○(有料)
セーフティボックス	○	湯沸し	○	ドライヤー	○	館内日本語案内	○(チェックイン時手渡し)
ミニバー	○	バスローブ	○	シャンプーと石鹸	○	NHK(日本語)	○
冷蔵庫	○	スリッパ	○	歯ブラシ	○	日本語新聞	×
無料飲料水	○	バスタブ	○	髭剃り	○		

◆主な客室

部屋	サイズ	客室数	ツインの数	備考
スーペリア	32㎡	95	77	
デラックス	34㎡	110	49	
ジュニア・スイート	36㎡	15	9	
プレジデント・スイート	72㎡	1	なし	
プリンス・ロイヤル・スイート	78㎡	1	なし	

◆主なレストラン

レストラン名	種類	場所	席数	営業時間	備考
ブルー・ダイヤモンド	インターナショナル	1階	125	BLD	
ソフィア・ピアノ・ラウンジ	軽食&飲み物	G階	30	LD	
ブルー・サイド・バー	飲み物	G階(屋外)	28	LD	

◆主なバンケット

宴会場名	場所	サイズ	高さ	カクテル	バンケット	シアター	クラスルーム	備考
トバース・コンファレンス・ルーム	1階	300㎡	m	200	80	250		

◆現地駐在員のコメント◆

SMIお勧めスーペリアホテル。市内メインストリート(シヴァタ通り)に面し、向かいにはラッキモール(大型ショッピングセンター)、アンコールマーケット(輸入品が多いスーパーマーケット)があり、ロケーションが良い。日本人観光客が主体のホテル。
1階客室および朝食レストランはエレベーターがなく、ロビーから階段を利用。客室内のセーフティボックスは新・旧2種類が混在しているので、ご案内には注意が必要。駐車場スペースが狭く、ハイシーズンには大型バス(45シーター)の待機ができず、ホテル正面にバスをつけることができない場合があるのが難点。ハイシーズンのマッサージは予約は時間を守らないことが多々あるので、

※情報は予告なく変更する可能性があります。

リー・ホテル

Ree Hotel



外観



スーペリア



オーキッド・コーヒー・ハウス

◆ホテル情報

住所	National Road 6, Phum Grouc, Sangkat Svay Dongkum, Siem Reap		
ウェブサイト	http://www.reehotel.com/		
電話	855 (0) 63 766 888	日本人スタッフ	無
クラス	★★★★☆	プール	1階 屋外 06:00-20:00
ロケーション	国道6号線沿い。	スパ	1階 ラベンダースパ 11:00-23:00 (受付22:00まで)
空港からのアクセス	15分程度	フィットネス	1階 06:00-23:00
総客室数	115室	朝食	1階 オーキッド・コーヒー・ハウス 05:30-09:30
階数	4階	エグゼクティブラウンジ	無
ロビー	1階 ロビー階 (レセプション)	喫煙	一般スペース不可(喫煙場所あり)
開業年(最新改装年)	2008年	周辺情報	コンビニ徒歩約5分
チェックイン/チェックアウト	14:00/12:00		
備考			

◆客室情報

鍵	カードキー(旧式)	コーヒー&紅茶	〇	シャワールーム	△(一部)	インターネット接続	〇(無料)
セイフティーボックス	〇	湯沸し	〇	ドライヤー	〇	館内日本語案内	×
ミニバー	〇	バスローブ	〇	シャンプーと石鹸	〇	NHK(日本語)	〇
冷蔵庫	〇	スリッパ	〇	歯ブラシ	〇	日本語新聞	×
無料飲料水	〇	バスタブ	〇	髭剃り	〇		

◆主な客室

部屋	サイズ	客室数	ツインの数	備考
デラックス・シティ・ビュー	31.5㎡	74	66	
デラックス・プール・ビュー	31.5㎡	33	30	
リー・スイート	61.5㎡	6		

◆主なレストラン

レストラン名	種類	場所	席数	営業時間	備考
オーキッド・コーヒー・ハウス	インターナショナル	1階	300	BLD	
カーネーション・ラウンジ	軽食と飲み物	1階	25	BLD	
パーム・テラス	軽食と飲み物	1階(屋外)	20	LD	プールサイド

◆主なバンケット

宴会場名	場所	サイズ	高さ	カクテル	バンケット	シアター	クラスルーム	備考
サンフラワー	2階	256㎡	m	150	250	350	170	

◆現地駐在員のコメント◆

2008年、旧プリアカーンホテルが、リーホテルとして開業いたしました。
 全面リノベーションの割には、客室ドア、廊下のカーペット敷きなどは旧プリアカーンのままなので、その点がちょっともったいなく、デラックスになりきれないホテルの印象。2014年にロビーなどを全面リニューアルの予定。
 レストランの朝食は充実しており、ハイティーは中国系ツーリストの利用が多いです。

※情報は予告なく変更する可能性があります。

ソマデビ・アンコール

Somadevi Angkor



外観(メインタワー)



スーペリア



ソマデビ・カフェ

◆ホテル情報

住所	Shivatha Road, Mondol II Village, Svay Dangkum Commune, Siem Reap		
ウェブサイト	www.somadeviangkor.com		
電話	855 (0) 63 967 666	日本人スタッフ	無
クラス	★★★★☆	プール	G階 屋外 06:00-19:00
ロケーション	市内中心部。シヴァタ通り沿い。ネスト向かい。	スパ	G階 屋外 バイオンスパ 09:00-22:00(受付21:00まで)
空港からのアクセス	25分程度	フィットネス	G階 屋外 06:00-21:00
総客室数	150室	朝食	G階 ソマデビ・カフェ 06:00-09:30
階数	5階	エグゼクティブラウンジ	無
ロビー	G階 ロビー階 (レセプション)	喫煙	一般スペース不可(喫煙場所あり)
開業年(最新改装年)	2006年	周辺情報	コンビニ徒歩約2分
チェックイン/チェックアウト	14:00/12:00		
備考			

◆客室情報

鍵	カードキー	コーヒー&紅茶	○	シャワールーム	○	インターネット接続	○(有料)
セーフティーボックス	○	湯沸し	○	ドライヤー	○	館内日本語案内	×
ミニバー	○	バスローブ	○	シャンプーと石鹸	○	NHK(日本語)	○
冷蔵庫	○	スリッパ	○	歯ブラシ	○	日本語新聞	×
無料飲料水	○	バスタブ	○	髭剃り	○		

◆主な客室

部屋	サイズ	客室数	ツインの数	備考
スーペリア	34m ²	72	69	
デラックス	36m ²	68	26	
インドラデビ・スイート	50m ²	7	なし	
ソマデビ・スイート	72m ²	3	なし	

◆主なレストラン

レストラン名	種類	場所	席数	営業時間	備考
ソマデビ・カフェ	インターナショナル	G階	180	BLD	
デビ・ロビーラウンジ	軽食と飲み物	G階	30	BLD	
パレイ・プールバー	軽食と飲み物	G階(屋外)	20	BLD	

◆主なバンケット

宴会場名	場所	サイズ	高さ	カクテル	バンケット	シアター	クラスルーム	備考
アンコールワットバンケットルーム	G階	360m ²	m	130	120	350		
	階	m ²	m					
	階	m ²	m					

◆現地駐在員のコメント◆

メインストリートシヴァタ通りに面し、プリンスディアンコールの隣のブロック。センターマーケットは徒歩圏内。
スーペリアはシティ・ビュー、デラックスはプール・ビューと別れています。シティ・ビューはシヴァタ通りに面しており客室からの眺めは悪くありません。ロケーションも良く、全室、バスタブ・シャワーブースがセパレートになっているので、このクラスとしてはコストパフォーマンスは良い方と思われます。

※情報は予告なく変更する可能性があります。

シティ・アンコール

City Angkor



外観



スーペリア



ロビー

◆ホテル情報

住所	Airport Road, Siem Reap		
ウェブサイト	www.thecityangkorhotel.com		
電話	855 (0) 63 760 336	日本人スタッフ	無
クラス	★★★★☆	プール	G階 屋外 07:00-21:00
ロケーション	国道6号線沿い。	スパ	G階 ノコールスパ 08:00-22:00(受付20:00まで)
空港からのアクセス	15分程度	フィットネス	無
総客室数	150室	朝食	G階 ノコール・コクトロック 06:00-09:00
階数	5階	エグゼクティブラウンジ	無
ロビー	G階 ロビー階	喫煙	可(レストラン内禁煙)
開業年(最新改装年)	1940年(2007年)	周辺情報	コンビニ徒歩約5分
チェックイン/チェックアウト	14:00/12:00		
備考			

◆客室情報

鍵	カードキー(旧式)	コーヒー&紅茶	○	シャワールーム	△(一部)	インターネット接続	○(無料)
セイフティーボックス	○	湯沸し	○	ドライヤー	○	館内日本語案内	○(チェックイン時手渡し)
ミニバー	○	バスロープ	○	シャンプーと石鹸	○	NHK(日本語)	○
冷蔵庫	○	スリッパ	○	歯ブラシ	○	日本語新聞	×
無料飲料水	○	バスタブ	○	髭剃り	○		

◆主な客室

部屋	サイズ	客室数	ツインの数	備考
スーペリア	28㎡	150	106	内トリプルルーム(40㎡) 10
エンベラー・スイート	56㎡	1	なし	2階
ロイヤル・スイート	63㎡	3	なし	3階2室、4階1室

◆主なレストラン

レストラン名	種類	場所	席数	営業時間	備考
ノコール・コクトロック	インターナショナル	G階	300	BLD	
ロビー・バー	各種飲み物	G階	10	BLD	カウンター席10

◆主なバンケット

宴会場名	場所	サイズ	高さ	カクテル	バンケット	シアター	クラスルーム	備考
シムリアップ・ホール	3階	360㎡		300	不可	350	120	
コクトロック・ルーム	G階	136㎡		70	不可	250	70	

◆現地駐在員のコメント◆

シムリアップを代表する老舗ホテル。スタンダードクラスでありながら、政府高官の宿泊も多く、各種会議などもよく行われます。建物の老朽化(古臭さ)はいなめませんが、ロビーは改装後明るく広々となりました。日本人観光客の利用も多く、スタッフは日本人客の対応には慣れている。レストラン外のガーデン部分には大きなステージが作られ、各種イベントに利用されることも多く、大型グループの場合にはアブサラダンスショーのプライベートアレンジが可能。

※情報は予告なく変更する可能性があります。

レストラン

加藤

S.M.I.TRAVEL CAMBODIA

レストラン

シエムレアップ・お勧めレストラン・グラン

Le Grand



外観



メニュー例(イメージ)



店内

◆レストラン情報

住所	1 Vithei Charles de Gaulle, Khum Svay Dang Kum, Siem Reap, Cambodia				
ロケーション	ラッフルズグランドホテル内				
ウェブサイト	www.siemreap.affles.com				
料理	クメール、洋食料理	予算	USD60/ppから	階数	2階
クラス	★★★★★	予約	要予約	総席数	60席
電話	855 (0)63 963 888	カード	可(VISA/AMEX/MASTER/JCB)	個室	仕切りを入れるなどの手配は可能 ただし、完全プライベートではない
営業時間	18:30-22:30 (ディナーのみ)	服装	スマートカジュアル		
休業日	無	喫煙	不可	お勧め人数	20名くらい
備考		エアコン	有		

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

老舗名門ホテル「ラッフルズグランド」内にあるレストラン。レストラン奥にはワインセラーもあり、エレガントで優雅な雰囲気はVIPツアーにもぴったりです。何世紀にも渡り、宮廷のシェフから受け継がれたクメール宮廷料理は絶品です。

*男性は襟付きシャツ、女性はイブニングドレスの着用をお勧めします。(ショートパンツ、ビーチサンダル不可)

クメール・ハウス

Khmer House



外観



メニュー例(イメージ)



個室

◆レストラン情報

住所	No.555 Phom Krous, Khum Svay Dang Kum, Siem Reap, Cambodia				
ロケーション	アンコールパレスホテル敷地内				
ウェブサイト	www.grandsoluxeangkor.com				
料理	クメール料理	予算	USD48/ppから	階数	
クラス	★★★★★	予約	要予約	総席数	席
電話	855 (0)63 760511	カード	可(VISA/AMEX/MASTER/JCB)	個室	個室(小) 8名程度
営業時間	11:30-22:00	服装	カジュアル		個室(大) 10名程度
休業日	無	喫煙	不可(屋外喫煙可)	お勧め人数	20名くらい
備考		エアコン	有		

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

リゾート型DLXホテル「アンコール・パレス」敷地内にある、高床式スタイルのレストラン。2つある個室は日本人にはうれしい掘りごたつ式。木造の雰囲気ある高床式レストランでのクメール宮廷料理は、美味しいと評判です。

シエムレアップ・お勧めレストラン

ロイヤル・コート

Royal Court



外観



アプサラダンスショー



ディナーの様子

◆レストラン情報

住所	Vithei Charles De Gaulle, Khum Svay Dang Kum, Siem Reap, Cambodia				
ロケーション	ソフィテル・アンコール・ポキートラホテル内				
ウェブサイト	www.sofitel.com/3123				
料理	アジア、クメールBBQ	予算	USD45/ppから	階数	1階、屋外
クラス	★★★★★	予約	要予約	総席数	75席
電話	855 (0)63 964600	カード	可(VISA/AMEX/MASTER/JCB)	個室	
営業時間	19:00-22:00 (ディナーのみ)	服装	カジュアル		
休業日	4月～9月：月・水・金曜	喫煙	不可(喫煙スペースあり)		
備考	19：30～アプサラダンスディナーショー開始（1時間ほど）			エアコン	有
				お勧め人数	20名くらい

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

リゾート型ラグジュアリーホテル「ソフィテル・アンコールホテル」内レストラン。乾季(10月～3月)は毎日、雨季(4月～9月)は週3回開催されるアプサラダンスディナーショー。料理は当日の稼働率によってbuffetかセットメニューとなり、雨天時は屋内(シタデルレストラン)へ移動。

アマゾン

Amazon



外観



アプサラダンスショー



店内

◆レストラン情報

住所	No.998, Salakanseng, Svay Dang Kum, Siem Reap, Siem Reap +855, Cambodia				
ロケーション	空港より車で15分、市内中心部より車で10分				
ウェブサイト					
料理	アジアンbuffet	予算	USD12/ppから	階数	1階
クラス	★★★	予約	要予約	総席数	400席
電話	855 (0)12 966988	カード	可(VISA/MASTER)	個室	
営業時間	18:00-22:00	服装	カジュアル		
休業日	無	喫煙	不可(喫煙スペースあり)		
備考	19：30～アプサラダンスディナーショー開始（1時間ほど）			エアコン	なし
				お勧め人数	20名くらい

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

伝統舞踊アプサラダンスショーとbuffetの市内レストラン（STDクラス）。食事の種類も豊富でbuffetラインも3エリアに分かれており、ヌードル、炭火焼き鳥コーナーは人気です。中国系、欧米系の観光客も利用しますが、ショーの最後まで見ないケースがほとんどです。ショーの最後はステージに上で踊り子たちと記念撮影ができます。

シエムレアップ・お勧めレストラン

アジア・スクエア

Asian Square



外観



メニュー例(イメージ)



店内

◆レストラン情報

住所	7 Makara Road, Wat Bo Village, Salakamreuk Commune, Siem Reap, Cambodia				
ロケーション	オールドマーケットから川を渡ってすぐのロケーション、車で2分ほど				
ウェブサイト	www.asiansquare-restaurant.com				
料理	クメール・インターナショナル	予算	USD20/ppから	階数	1階
クラス	★★★★	予約	要予約	総席数	70席(エリア) 70席(ガーデンエリア)
電話	855 (0)63-767797	カード	可(VISA/MASTER)	個室	10席程度 (小)
営業時間	06:00-23:00	服装	カジュアル		エアコン席のプライベートアレンジ可
休業日	無	喫煙	ガーデンエリアのみ可		
備考		エアコン	有	お勧め人数	20名くらい

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

最新のクメール料理レストラン、ロケーションもオールドマーケットに程近く、駐車場完備。
インテリアもおしゃれで開放的な作りの中に椅子、テーブルなどはしっかりした作りの物を使用しております。
また、エアコンルームも完備しておりFIT/GRPともに使い勝手は良いと考えます。
クメール料理のちょっと予算のあるツアーにお勧めのレストランです。

ネスト

Nest



外観



メニュー例(イメージ)



店内

◆レストラン情報

住所	Sivatha Boulevard, Siem Reap				
ロケーション	市内中心部。メインストリートシヴァタ通りに位置。ソマデビホテル向かい。				
ウェブサイト	www.nestangkor.com				
料理	クメール・アジア・西洋料理	予算	USD20/ppから	階数	1階
クラス	★★★★	予約	要予約	総席数	120席(テーブル席80)
電話	855 (0)63-966381	カード	可(VISA/AMEX/MASTER/JCB)	個室	
営業時間	11:00-24:00	服装	カジュアル		
休業日	無 (カンボジア正月1日のみ)	喫煙	可		
備考		エアコン	なし	お勧め人数	20名くらい

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

シエムレアップのメインストリートシヴァタ通りに位置する。白いテントで覆われたスタイリッシュなカフェバー。セットメニューは比較的濃いめの味付けで、ボリューム有り。アラカルトメニューも各種あり、カリフォルニア巻きなどもございます。竹で作られたカプセルスタイルの席ではカップル、友人同士がくつろいで過ごせる空間となっています。レストラン前の駐車スペースが狭く、大型バスの駐車は厳しい。
欧米観光客の利用が多いレストランです。

シエムレアップ・お勧めレストラン

アライアンス・カフェ

Alliance Café



外観



メニュー例(イメージ)



店内

◆レストラン情報

住所	Old Market area, Siem Reap				
ロケーション	市内中心部。オールドマーケットまで徒歩3分				
ウェブサイト	www.allianceangkor.com				
料理	クメール、西洋料理	予算	USD20/ppから	階数	1階
クラス	★★★★	予約	要予約	総席数	60席（バーエリア10席）
電話	855 (0)63-964940	カード	可(VISA/AMEX/MASTER/JCB)	個室	
営業時間	10:00-23:00	服装	カジュアル		
休業日	無	喫煙	一部可(1階の一部のみ)		
備考		エアコン	なし	お勧め人数	20名くらい

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

敷地内にはプールとバーエリアがあり、隠れ家のような雰囲気のカンボジアフレンチレストラン。オーナーはかつてSOFITEL ANGKORのF&Bマネージャー。レストラン内には、様々なアート作品が展示販売されております。ちょっとしたカジュアルフレンチにお勧めです。

エフ・シー・シー アンコール

FCC Angkor



外観



メニュー例(イメージ)



店内

◆レストラン情報

住所	Pokambor Ave, (Next to the Royal Residence) Siem Reap				
ロケーション	市内中心部。シエムレアップ川沿い。王家の別荘となり。				
ウェブサイト	http://www.fccambodia.com/angkor/				
料理	クメール・西洋料理	予算	USD25/ppから	階数	2階（1階70名・14名/2階150名）
クラス	★★★★	予約	要予約	総席数	250席
電話	855 (0)63-760280	カード	可(VISA/AMEX/MASTER/JCB)	個室	
営業時間	07:00-24:00	服装	カジュアル		
休業日	無	喫煙	可		
備考		エアコン	なし	お勧め人数	20名くらい

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

内戦時代 記者クラブとして利用された建物を改装しオープンしたブノンペンFCCレストランの姉妹店。
川沿いに建つ白亜の瀟洒な建物の2階部分が通常レストランとして利用されております。1階ガーデン部分では、プライベートパーティー（有料）を楽しむことも可能です。（25名以上でアジアまたはウェスタンビュッフェのチャーターアレンジ有料にて可）

シエムレアップ・お勧めレストラン

イート・アット・クメール

Eat At Khmer



外観



メニュー例(イメージ)



店内

◆レストラン情報

住所	Road No.6 Sala Kangseng Village Svay Dangkhum Commune, Siem Reap				
ロケーション	国道6号線沿い。市内中心部と空港との中間地点。ケマラホテル近く。				
ウェブサイト					
料理	クメール料理	予算	USD10/ppから	階数	1階
クラス	★★★	予約	要予約	総席数	180席 (90席オープンエア)
電話	855 (0)12-349145	カード	不可	個室	
営業時間	11:00-15:00/17:00-21:00	服装	カジュアル		
休業日	無	喫煙	一部可(オープンエアエリアのみ)		
備考		エアコン	一部有 (90席)	お勧め人数	20名くらい

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

国道6号線に面した小規模レストランですが、セットメニューの種類は豊富。
カンボジア料理は1つの料理を4名様位でシェアするスタイルです。
駐車場スペースが狭いので、FIT/小グループ向き。21:00までの営業ですが事前連絡をすれば22:00まで対応可能。
遅いフライトでご到着の場合にも便利です。

ニュー・バイヨン

New Bayon



外観



メニュー例(イメージ)



店内 (個室大)

◆レストラン情報

住所	No.0315, Wat Bo Street, Svay Dung Kum Commune, Siem Reap				
ロケーション	市内中心部。シエムレアップ川沿い。				
ウェブサイト					
料理	クメール料理	予算	USD10/ppから	階数	1階
クラス	★★★	予約	要予約	総席数	324席(ホール200席)
電話	855 (0)12-630750	カード	不可	個室	4室(50席x2室、12席x2室)
営業時間	10:00-14:00/ 17:00-21:00	服装	カジュアル		
休業日	無	喫煙	屋外にて可		
備考		エアコン	有	お勧め人数	20名くらい

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

カンボジア料理店では老舗的な存在。日本人、タイ人、カンボジア人の利用が多く、日本人には食べやすい味付けのクメール料理が多いです。ツアー客の対応に慣れており、安心して任せられるレストランの一つです。難点はフレッシュジュースがないこと。
予算に応じてメニューアレンジも可能で、個室の数も多いので使い勝手が良いレストランです。
2名以下の場合には、料理の品数が減ります。食後のコーヒーはネスカフェ、お茶は中国茶です。

シエムレアップ・お勧めレストラン

モール

Moul



外観



メニュー例(イメージ)



店内

◆レストラン情報

住所	412 Group7, Tachul Village, Svay Dangcum Commune, Siem Reap				
ロケーション	サリナホテル向かい				
ウェブサイト					
料理	カンボジア麺、鍋セット料理	予算	USD10/ppから	階数	1階
クラス	★★★	予約	要予約	総席数	100席
電話	855 (0)63-963069	カード	不可	個室	
営業時間	11:00-14:00/17:00-21:00	服装	カジュアル		
休業日	無	喫煙	可		
備考	セットメニューのみ対応可能	エアコン	なし	お勧め人数	20名くらい

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

カンボジア麺(クティウ)は お客様から「美味しい!」と好評です。客席エリアが3つに分かれているため、30名以上のグループ利用時はエリアが分かります。ドリンクメニューとトイレが少ない点が難点。その代わり、飲み物の持ち込み料金は不要です。アラカルト メニューはありません。到着後の追加料理の手配も不可なので、ご注意ください。

トロピカル

Tropical



外観



メニュー例(イメージ)



店内

◆レストラン情報

住所	Krous village, Svay dong kum, Siem Reap				
ロケーション	シエムレアップ国際空港まで、車で10分。City Angkor Hotel近く。				
ウェブサイト	http://www.tropicalangkorrestaurant.com/				
料理	中華・飲茶料理・タイすき	予算	USD12/ppから	階数	1階
クラス	★★★	予約	要予約	総席数	380席(120席・130席・タイキ80席)
電話	855 (0)12-862111	カード	可(VISA/AMEX/MASTER/JCB/DINER)	個室	2室(20席 x 1, 30席 x 1)
営業時間	11:00-14:00/ 17:00-21:00	服装	カジュアル		
休業日	無	喫煙	一部可(個室のみ)		
備考		エアコン	有	お勧め人数	20名くらい

◆SMI現地駐在員からのお勧めポイント◆

New bayonグループの大型中華料理店。レストラン内は3フロアーに分かれており、大型グループの利用も問題ありません。飲茶セットのデラックスメニューはありませんので、アラカルトメニューからいくつかを選び追加してオリジナルメニューを作ります。スキースープ(タイスキと同様)用にフロアーも分かれております。中庭では、プライベートアレンジも可能。個室もあり、使い勝手の良いレストランです。日本人を中心に、欧米、中国人観光客の利用も多いです。

パーティー案 ゴルフ

加藤

S.M.I.TRAVEL CAMBODIA

パーティー案ゴルフ

ANGKOR NATIONAL MUSEUM アンコール国立博物館



<http://www.angkornationalmuseum.com/index>

モデルスケジュール

18:00-18:15	ホテル出発
18:30-19:30	アンコール国立博物館到着、貸切館内ツアー
19:35-20:05	カクテルレセプション
20:10-21:45	会場にてお食事スタート(アトラクションとしてアプサラダンス、影絵アレンジ可能)
22:00	ホテル帰着

イメージ画像



貸切館内ツアー



レセプション会場例



会場例 博物館2階



会場例 博物館1階



会場例 博物館裏の広場



アトラクション(アプサラダンス)

場所	ラッフルズグランドホテル横アンコール国立博物館内				
食事	クメール料理、中華、buffe(ケータリングにて対応)				
営業時間	1800-2100 (博物館閉館時間18:00以降)				
お勧め人数	1階ロビー部分/1-30名、1階,2階廊下部分30-100名、正面デッキ1-100名、博物館裏1-300名				
参考料金 (2014年度)	貸切館内ツアー			US\$15/P	
	会場費用	正面デッキ	1,2階廊下	1-30名	US\$900/EVENT
		正面デッキ	1,2階廊下	31-60名	US\$1,750/EVENT
		博物館裏		1-30名	US\$800/EVENT
		博物館裏		31-60名	US\$1,650/EVENT
	食事費用	ケータリングにてソカホテル、リーホテル、ソフィテル、ラッフルズなどホテルからアレンジ可能 内容(クメール、洋食セット、buffe、ライトアップ)			US\$95/P~
	オプション	アプサラダンス			US\$400/EVENT
		影絵(スバエクトム)			TBA
影絵(スバエクトウイ)			TBA		
備考					

※参考料金となります。お見積りもは各営業・手配までお問い合わせ下さい。

エス・エム・アイ・トラベルジャパン株式会社

取り扱い地域：タイ・ベトナム・カンボジア・マレーシア・シンガポール・ミャンマー・台湾

DLX ホテルでのパーティー案紹介

・ラッフルズ グランドホテル ダンコール

ホテル案内



フランス統治時代に作られた歴史のあるホテル、落ち着いた雰囲気の皆様をお迎えします。

パーティー案



プールサイドでのパーティーアレンジ画像、ならびに、ホテル所有の別施設(アタコーンハウス)でのパーティーアレンジの画像です。



ラッフルズ向かいのガーデンでのパーティーアレンジ画像です。

雨天の場合ですが、ラッフルズの場合、バンケットルームがないため代替え場所がございません。この点ご注意ください。

また、遺跡でのパーティーアレンジも可能です。

・ソフィテル ロイヤル アンコール

ホテル案内



開放感のある大きなプール、ガーデンがホテル内に配されたリゾートホテル。

パーティー案



ボールルームでのパーティーアレンジ画像です。



ソフィテル・ロイヤルアンコールでのプールサイドパーティー案です。

これにプラスしてカンボジアの農村をイメージしたクメールビレッジのセッティングも可能です。これは、エキストラで牛を入れたり、プールに船を浮かべて投網を打たせたり、という趣向になります。

また、アプサラダンスのアレンジが可能です(要別料金)。

雨天の際はボールルームでのパーティーへ変更となります。

また、遺跡でのパーティーアレンジも可能です。

・ルメリディアン アンコール
ホテル案内



モダンでエレガントな雰囲気のホテル、グループでの使い勝手が非常に良いです。

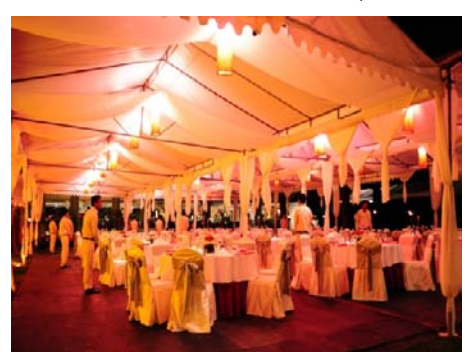
パーティー案



バンケット内でのパーティー画像です。アプサラダンスのアレンジが可能です(要別料金)。



コートヤードガーデン(中庭)でのパーティー画像です。アプサラダンスのアレンジが可能です(要別料金)。





パームガーデン(スイミングプール脇)でのパーティー画像です。照明のためにテント設置をしたセッティングの画像も含めておきます。アプサラダンス、影絵のアレンジが可能です(要別料金)。

エキストラとしてクメール王朝時代の兵士を模した人間やアプサラダンサーの衣装を着たスタッフを配置することが可能です。

雨天の場合はボールルームでのアレンジとなります。

また、遺跡でのパーティーアレンジも可能です。

・ソカアンコール

ホテル案内



市内中心部にある DLX ホテル、明るい雰囲気でクメール風のデコレーションが特徴。

パーティー案



バンケット内でのパーティーアレンジ風景(LCD プロジェクターを使用、要別料金)。



プールサイドでのパーティーアレンジ風景です。アプサラダンス、影絵ショーなどのアレンジが可能です(要別料金)。

・遺跡パーティー案

DLX クラスから SUP クラスまでのホテルとのタイアップにて遺跡でのパーティーアレンジが可能です。夕食代金、ケータリング費用、遺跡ライトアップ用照明セッティング、アプサラダンスショーアレンジ費用、APSARA 機構(アンコール遺跡保存機構)の遺跡使用許可費用、などが必要になります。

以下、ラッフルズとのタイアップでのプラサットクラヴァン寺院でのパーティー風景、メリディアンとのタイアップでのトマノン寺院でのパーティー風景画像です。

プラサットクラヴァン寺院(ラッフルズ)



ディナー会場への導線



テーブルセットアップ



遺跡ライトアップ風景



遺跡とダンスショー



遺跡とアプサラダンサー

トマノン寺院(メリディアン)



ディナー会場への導線



テーブルセットアップ



お客様食事の様子



遺跡ライトアップとダンスショー



ダンスショー風景



雨天用バックアップ(テント)

ソフィテル・ポキートラ・カントリー

ソフィテル・ポキートラ・ロイヤルアンコール経営のゴルフ場で練習グリーンの奥には同ゴルフ場のシンボルとなっているアンコール時代の橋の遺跡が残っているユニークなゴルフ場。ホテル経営ということもありホテル並のサービスが売り物です。

コースは水の多い戦略的な本格コースで、アジアツアーのジョニーウォーカー・カンボジア・オープンが開催されました。

ソフィテルの部屋と組み合わせたお得なパッケージ料金もございます。



コース風景



コース風景



レストラン



アンコール時代の橋

オプションツアー代金 18ホール（グリーンフィー、キャディーフィーカート、往復送迎含む）

2名様より		3名様より		グループ
平日	土日祝日	平日	土日祝日	ご相談下さい。
US\$186	US\$186	US\$170	US\$170	

コース概要

お奨め度	場所	所要時間	定休	予約開始	距離
◎	シエムレアップ郊外	約30分	なし	随時	6,262ヤード(白)
カート	ホール数	レンタルクラブ	レンタルシューズ	ドライビングレンジ	VIPルーム
US\$40(キャディー付き、強制)	18	US\$40～	US\$10	なし	なし

アンコール・ゴルフ・リゾート

シエムレアップ市内に位置する好立地、コースデザインはニック・ファルド、という本格的なチャンピオンコース。

アジアツアーのハンダ・ファルド・カンボジアクラシックの舞台となっております。

コースは水、バンカーを効果的に配した特徴的なコースとなっております。



コース風景



コース風景



クラブハウス



レストラン

オプションツアー代金 18ホール（グリーンフィー、キャディーフィーカート、往復送迎含む）

2名様より		3名様より		グループ
平日	土日祝日	平日	土日祝日	ご相談下さい。
US\$185	US\$185	US\$169	US\$169	

コース概要

お奨め度	場所	所要時間	定休	予約開始	距離
◎	シエムレアップ市内	約15分	なし	随時	5,920ヤード(白)
カート	ホール数	レンタルクラブ	レンタルシューズ	ドライビングレンジ	VIPルーム
US\$28(1人乗り)、US\$36(2人乗り)	18	US\$25～	US\$5	あり	なし

※情報は予告なく変更する場合がございます。

※カンボジアではキャディーは強制となります。

体験型訪問先

加藤

S.M.I.TRAVEL CAMBODIA

体験型訪問先

【カンボジア】学校、孤児院



カンボジアを深く知る、カンボジアで心に残る体験を

サハコーンサマキ小学校			アンコール大学		
サハコーンサマキ小学校は現在5教室を持つ学校で在校生とは150名ほどです。午前、午後の2部制となっており、幼稚部から小学校6学年まであります。			日本語学科のあるカンボジアの大学。日本人講師も在籍。日本語での交流が可能。社会人で勉強されている方も多数。現在、日本語学科生徒は10名未満。		
所要時間(市内より)	約20分		所要時間(市内より)	約15分	 http://www.angkor.edu.kh /
滞在時間	約60-90分		滞在時間	約90-120分	
訪問可能時間	08時-11時、14時-16時		訪問可能時間	09時-12時、14時-16時	
定休日	日曜・祝日		定休日	週末・祝日	
最少受入人数	2名		最少受入人数	2名	
最大受入人数	40名		最大受入人数	40名	
目安手配料	US\$10/お一人様		目安手配料	US\$10/お一人様	
 			 		
見学内容		所要時間	見学内容		所要時間
*授業参観		20分	*日本語での自己紹介		40-50分
*折り紙など日本の遊びを教える		40分	*日本語の授業に飛び入り参加		40-50分
*歌の交換など		30分	*一緒に課外授業(小学校訪問など)も可能		オプション、半日
ご案内事項			ご案内事項		
*カンボジアの学校の長期休暇は9月ごろです(毎年変わる、要確認)			*カンボジアの学校の長期休暇は9月ごろです(毎年変わる、要確認)		
*文房具など渡す場合はできるだけ全生徒にお願いします			*時期により生徒が少ない場合があります		

スナダイクマエ孤児院			ファーマーズテルドレン孤児院		
日本人のメアス弘子さん主宰の孤児院。日本語の教育や絵画の指導、伝統文化の指導なども行っている。 子供たちは小学校低学年から高校生くらいまで、幅広い。			市内からバンテアイスレイ方面へ進んだところにある孤児院。 OB,OGがホテル等で伝統舞踏を踊っており子供たちに指導もされている。 こちら小が校低学年から高校生くらいまで幅広い。		
所要時間(市内より)	約10分		所要時間(市内より)	約40分	
滞在時間	約90-120分		滞在時間	約90分	
訪問可能時間	09時-11時、14時-16時		訪問可能時間	09時-11時、14時-16時	
定休日	要確認		定休日	要確認	
最少受入人数	10名		最少受入人数	10名	
最大受入人数	40名		最大受入人数	50名	
目安手配料	US\$10/お一人様	http://snadai.blogspot.co	目安手配料	US\$15/お一人様	
					
見学内容		所要時間	見学内容		所要時間
*孤児院の概要紹介		20分	*子供たちによる伝統舞踏の披露		30分
*子供たちの日本語スピーチ		40分	*折り紙など日本の遊びを楽しむなど		60分
*サッカー、バレーなど運動、食事づくり		30-60分	*バレーなど運動		60分
*伝統舞踏(リクエストがあれば)		30分ほど	*一緒に食事も可能(別途料金がかかります)		
ご案内事項			ご案内事項		
*丁寧な日本語で接してください(教育上きれいな日本語を使用)			*午前もしくは午後の訪問は要確認(子供たちの学校の都合)		
*文房具など渡す場合はできるだけ全生徒にお願いします			*文房具など渡す場合はできるだけ全生徒にお願いします		

※写真の複写・転載はご遠慮ください。

【カンボジア】 NGO、病院など



カンボジアを深く知る、カンボジアで心に残る体験を

かものはしプロジェクト			井戸掘り		
かものはしプロジェクトは「大人に仕事を、子供に教育を」をスローガンに農村部の子供の人身売買をなくす、農村部での女性の自立をサポートする、ことを目的に活動されているNPO団体です。			日本語学科のあるカンボジアの大学。日本人講師も在籍。日本語での交流が可能。社会人で勉強されている方も多数。現在、日本語学科生徒は10名未満。		
所要時間(市内より)	約40分	 http://www.kamonohashi-project.net/	所要時間(市内より)	選定場所による	
滞在時間	約60-120分		滞在時間	約40分	
訪問可能時間	08時-11時、14時-16時		訪問可能時間	09時-12時、14時-16時	
定休日	日曜・祝日		定休日	要確認	
最少受入人数	2名		最少受入人数	2名	
最大受入人数	40名		最大受入人数	40名	
目安手配料	US\$10/お一人様		目安手配料	US\$300/グループ	
 			 		
見学内容		所要時間	見学内容		所要時間
*工房見学		60分	*井戸を寄贈した現場を訪問、見学		20-40分
*農村訪問(別途料金)		60分			
*簡単な小物の製作体験(別途料金)		30分			
ご案内事項			ご案内事項		
*農村訪問はワーカーの女性達の実家を訪問します			*場所の選定によっては使用車種を限定する可能性があります		
*市内の直営ショップの訪問も可能			*完成までの所要日数は1週間ほど		

フレンズセンター(アンコール小児病院)			ロイヤル・アンコール・ホスピタル		
写真家の井津建郎氏によって1999年にアンコール小児病院が開設され、開院依頼、75万人以上の子どものための治療にあたり、現在は1日平均350人もの患者が訪れます。			24時間診療可能な総合病院。すべての診療科目に対応している。タイのバンコクホスピタルとの提携病院でタイ人医師も多い。日本人カスタマーサービス在駐。		
所要時間(市内より)	約10分		所要時間(市内より)	約15分	
滞在時間	約30-60分		滞在時間	約60-90分	
訪問可能時間	09時-11時、14時-16時		訪問可能時間	09時-11時、14時-16時	
定休日	要確認		定休日	要確認	
最少受入人数	2名		最少受入人数	10名	
最大受入人数	40名		最大受入人数	30名	
目安手配料	US\$10/お一人様	http://www.fwab.jp/hospital/top.html	目安手配料	US\$10/お一人様	http://www.royalangkorphospital.com/en/default.asp
					
見学内容		所要時間	見学内容		所要時間
*フレンズセンターにて病院の概要説明		30分ほど	*病院の概要説明		30分
*状況許せば病院内を視察		30分	*院内視察		30分
			*ドクター、係員との質疑応答		30分
ご案内事項			ご案内事項		
*院内は感染症などの問題もあり、状況により視察可能(要確認)			*病院、ドクターの都合もありアポ取りは要確認		
*フレンズセンターは病院併設のエキシビジョンセンター					

※写真の複写・転載はご遠慮ください。

【カンボジア】体験型訪問先



カンボジアを深く知る、カンボジアで心に残る体験を

JST 遺跡修復ツアー		
遺跡修復を行っている日本国政府チームのサポート団体としてJSTが本プログラムを企画しております。遺跡の修復に関すること、簡単な作業体験などが可能(要相談)です。		
所要時間(市内より)	約20分	 http://www.jst-cambodia.net/index.php
滞在時間	約2.5時間	
訪問可能時間	08時-11時、14時-16時	
定休日	日曜・祝日	
最少受入人数	2名	
最大受入人数	40名	
目安手配料	US\$40/お一人様	
 		
見学内容		所要時間
*パイヨンインフォメーションセンター		30分
*パイヨンハットにて概要説明		30分
*遺跡修復現場見学		60分
ご案内事項		
*農村訪問も可能(別途料金)		
*アンコール遺跡入場券は別途必要です		

クルクメール		
クルクメールは代表の篠田さんが2009年に設立したカンボジアのハーブを扱う工房です。ハーブを使った製品の作成体験が可能です。		
所要時間(市内より)	約15分	 http://krukhmer.com/
滞在時間	約90分	
訪問可能時間	09時-12時、14時-16時	
定休日	日曜・祝日	
最少受入人数	2名	
最大受入人数	20名	
目安手配料	US\$15/お一人様から	
 		
見学内容		所要時間
*ハーブティーを飲みながら概要説明		20分
*ハーブ園を散策		20分
*ハーブ製品の作成体験		40分
ご案内事項		
*日によって他のお客様と一緒に参加の可能性があります		
*作成はハーブの入浴剤になります		

IKTT 伝統の森			シルクファーム		
伝統の森とは、IKTTの森本喜久男氏(ロレックス賞受賞)がはじめた、森の再生プロジェクト。 シルクに関する話を聞いたり草木染の体験が可能です。			アーティザンダンコールという職業訓練施設が運営する施設で、桑の木の育成から蚕の育成、機織、染付けまで一貫して見学可能です。 機織、絵付けの体験可能。		
所要時間(市内より)	約60分	 http://iktt.esprit-libre.org/	所要時間(市内より)	約40分	 http://www.artisansdangkor.com/
滞在時間	約60-120分		滞在時間	約60-120分	
訪問可能時間	09時-11時、14時-16時		訪問可能時間	08時-16時	
定休日	要確認		定休日	なし(体験は要確認)	
最少受入人数	2名		最少受入人数	2名	
最大受入人数	40名		最大受入人数	20名	
目安手配料	US\$10/お一人様 染色体験 US\$30		目安手配料	US\$20/お一人様	
 			 		
見学内容		所要時間	見学内容		所要時間
*伝統の森の概要説明		30分ほど	*シルクファーム概要説明		15分
*工房の見学		30分	*園内の工程見学		30分
*草木染体験や農村体験など(別途料金)		60分ほど	*体験		90分
ご案内事項			ご案内事項		
*草木染は午後がベスト(午前はその準備がある)			*絵付けが15名ほど、機織は4名まで(機織機が4台のため)		
*桑の木植樹はUS\$30/本、施設に宿泊も可能					

※写真の複写・転載はご遠慮ください。

カンボジア交流プログラム ご紹介

2012年7月末に催行した高校生向けのカンボジアでの交流プログラムの内容をご紹介します。

旅の主眼としては日本の高校生に文化の違いを体験してもらい日本での生活に新たな発見をってもらう、ということで遺跡の修復、カンボジアの同世代の子供たちとの交流を行ってまいりました。

主な訪問地		
JASA遺跡修復&農村訪問	ファーマーズチルドレン(孤児院)	スナダイクマエ(孤児院)
アンコールトム内で修復活動しているJASA(日本国政府アンコール遺跡救済チーム)を訪問    	バンテアイスレイ方面にある孤児院を訪問、こちらでは子供たちがアプサラダンス、伝統音楽を学んでおります。    	市内にある日本人運営の孤児院。日本語の話せる学生も多く、国内のスピーチコンテストで優勝経験あり。    
08:15 ホテル出発 08:30 バイヨンインフォメーションセンター 09:15 アンコールトムへ 10:00 バイヨンハットにてフリーフィング 10:30 グループに分かれて修復視察 12:00 アンコールクラウ村へ 村にて昼食(お弁当) 13:30 フリースクール見学 英語でのスピーチ、子供たちへの給食授業の準備手伝いなど 15:00 クラウ村の子供たちのお宅訪問 16:00 終了、市内へ * JASA感謝状発行可能 	09:00 ホテル出発 09:30 地雷博物館見学 10:30 ファーマーズチルドレン到着 子供たちによる歓迎(ダンスなど) 日本の学生からのあいさつなど 11:00 班に分かれて交流活動 調理班(手伝い程度)、伝統舞踏を習う班、運動(バレー、サッカーなど)班、施設探検班に分かれました。 12:00 食事(クメール料理) 12:45 食事後の後片付け手伝い 遊び(折り紙、コマ、ヨーヨー、など) 14:00 綱引き大会 14:30 施設の子供たちによる踊り、歌の披露、日本の学生から出しもの披露 15:30 終了、市内へ	09:00 ホテル出発 09:20 スナダイクマエ到着 スナダイクマエスタッフより施設の説明 09:45 市場へ買い出し(この日は皆でカレーを作りました) その他の学生はスポーツ交流(サッカー、バレーなど) 10:30 調理開始 12:00 食事(カレー) 12:30 食事後の後片付け 13:00 施設の学生による日本語のスピーチ 日本の歌の披露 日本の学生から出しもの披露 14:00 終了

日付	都市	時間	日程	食事
1	シエムレアップ		空路、シエムレアップへ 到着後、ホテルへご案内	朝:なし 昼:なし 夕:クメール料理
2	シエムレアップ	早朝 終日 夕刻	朝食後に弊社日本人、ガイドによるクメール語講座 JASA遺跡修復&農村訪問 *バケン山にて夕焼けの観賞可能 ホテル到着	朝:ホテル 昼:BOX 夕:ブッフエ+ダンスショー
3	シエムレアップ	午前 午後	地雷博物館見学 ファーマーズチルドレン訪問 引き続き交流活動 *交流活動終了後、バンテアイスレイ寺院訪問可能 ホテル到着	朝:ホテル 昼:施設にてクメール料理 夕:カンボジア風牛鍋
4	シエムレアップ	終日 午後	スナダイクマエ訪問 交流活動 *交流活動終了後、トンレサップ湖訪問可能 ホテル到着	朝:ホテル 昼:施設にてカレー 夕:中華料理
5	シエムレアップ	午前 午後	タブロム寺院、アンコールワット観光 市内観光	朝:ホテル 昼:ブッフエ 夕:xxx
6	各地		空港へお見送り	朝:なし

注意事項

- * 孤児院訪問の場合、子供たちは午前もしくは午後学校に通いますので、そのスケジュールの確認が必須。
- * カレーなどを作る場合、カレー粉などは日本にて用意、その他野菜類は現地にて入手可能。
- * 日本風の遊び道具(折り紙、コマ、ヨーヨー、風船など)を準備しておけば交流を取りやすい。
- * 事前に歌、ダンス、など出しものを準備いただいたほうがより充実した交流となります。

諸費用

- * JASA遺跡修復 A(修復見学のみ) US\$40/PAX、US\$50/PAX(昼食付)、A+B(農村体験) US\$80/PAX(昼食付)
- * ファーマーズチルドレン US\$15/PAX(昼食付き、寄付金に相当)
- * スナダイクマエ US\$10/PAX(Tシャツの購入が義務、こちらが寄付金に相当)

東京 〒105-0013 港区浜松町1-2-1 一光浜松町ビル3階 TEL:03-3438-1014 FAX:03-3459-1385
 名古屋 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-11 レインボー丸の内4階 TEL:052-957-3716 FAX:052-957-3717
 大阪 〒530-0054 大阪市北区南森町1-2-25 南森町ビル2階 TEL:06-6311-5067 FAX:06-6311-0320
 福岡 〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-1 ワコービル7階 TEL:092-725-2411 FAX:092-725-2412

ショッピング

加藤

S.M.I.TRAVEL CAMBODIA

ショッピング

KHMER ANGKOR FOODS CO.,LTD. ANGKOR KOOKIES (アンコール・クッキー)

ADDRESS : Opposite Sofitel Royal Angkor Hotel, Siem Reap, Kingdom of Cambodia

TEL : 063-964 770 / 012-315 804 FAX : 063-965 975 E-MAIL : info@angkorcookies.com Web-Site : www.angorkoocookies.com



- 正面入口 -



- ショップ内 -



- ショップ入口とカフェ・プカプカ -

ロケーション	ソフィテル・アンコールホキトラ・ゴルフ&スパリゾート前				
創業	2004 年 4 月 2010 年 6 月新装開店	階数	1	日本円	利用可
営業時間	09:30 - 19:00 ショップ 10:30 - 19:00 カフェ	クレジットカード	JCB, VISA, MASTER 利用可		

特 徴

日本人オーナー経営。ショップには日本人スタッフと日本語を話すカンボジア人スタッフが常駐。(2013 年 12 月現在)
2010 年モンドセレクションを受賞[金賞 トロワコンチネンツ・コーヒーセット(現在販売中止)、銀賞 アンコール・クッキー、バナナチップス]
バナナチップスはシェムリアップ市内スーパーマーケットでも販売しておりますが、その他の商品はショップのみの販売になります。
* 車内販売も可能です。お立ち寄りの時間がない場合には、担当ガイドに注文することが可能です。
カフェ・プカプカでは、各種飲み物のほかにも[マンゴーカキ氷、マンゴーシェイク]など各種デザートもお楽しみいただけます。

商品案内

日本人販売員も配置しアクセスしやすい店内。



モンドセレクション銀賞受賞
おなじみくアンコールクッキー>



カフェ プカプカと名物の
各種フルーツシェイク



モンドセレクション銀賞受賞
＜ バナナチップス ＞



=クッキー以外にも沢山のおみやげが揃っています=



注意事項 ・その他

2010年6月 ショップは、リニューアルオープンいたしました。

WELLA CAMBODIA
CAMBODIA TEA TIME (カンボジア・ティー・タイム)

ADDRESS : #59 St.Charlels-de Gaulle Tro Peung, Ses Village, Kokchok District, Siem Reap, Cambodia

TEL : 063-761397/ 012-315 804 FAX : なし E-MAIL : wella_cam@yahoo.co.jp Web-Site : <http://www.cambodiateatime.com/#>


- 正面入口 -



- ショップ内 -



- ショップ入口とカフェ -

ロケーション	メリディアンアンコールの北側(遺跡寄りの方角)				
--------	-------------------------	--	--	--	--

創業	2006 年 11 月 2012 年 12 月新装開店	階数	3	日本円	利用可
----	--------------------------------	----	---	-----	-----

営業時間	10:00 - 19:00 ショップ 年中無休	クレジットカード	VISA, MASTER 利用可		
------	----------------------------	----------	------------------	--	--

特 徴

日本人オーナー経営。ショップには日本人スタッフと日本語を話すカンボジア人スタッフが常駐。(2013 年 12 月現在)
日本でカークリーニングの会社を運営されているオーナーがカンボジアの若い方たちに雇用に機会を作る、カンボジアの良いものを世界各地から来る観光客に紹介する、という目的で設立。

カンボジアの伝統菓子であるノムトムムン、日本のおこしのようなノムクイティウを制作、販売しております(実演販売あり)。

また、セレクトされたさまざまなお土産品、カフェなどを併設、オールドマーケット、空港にも商品が置かれております。

商品案内

女性販売員が実演販売
熱い生地を丁寧に作成する
姿が見えます



カンボジアの伝統菓子を
売るコーナー



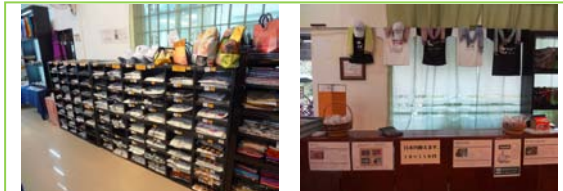
納豆を制作、販売する事業も行われており、シエムレアップ市内だけでなく、プノンペン、シハヌークビルなどカンボジア各地で販売されております



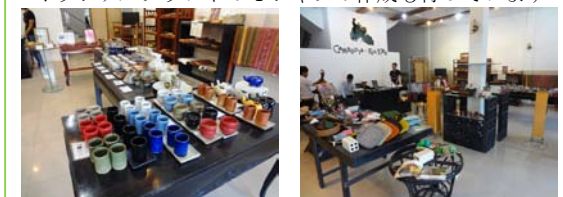
写真家 藤井秀樹さんの
ギャラリーも併設(3F)



=クッキー以外にも沢山のおみやげが揃っています=



オリジナルプリントの T シャツの作成も行っています



納豆作りの過程などをパネルで紹介、無農薬の大豆を使用しこだわりの納豆を制作


**注意事項
・その他**

2012年12月 ショップは、リニューアルオープンいたしました。



SOUVENIR SHOP SARA (サラ)

ADDRESS : National Road6, Siem Reap, Kingdom of Cambodia

TEL : 063-969 296 / 077-850602 FAX : - E-MAIL : saracambodia@gmail.com Web-Site : -



- 店内 休憩席 -



- 建物全体 -



- コンビニ -

ロケーション	シェムリアップ市内国道6号線沿い。ゴルディアナホテル隣。				
創業	2009 年 10 月	階数	1	日本円	利用可
営業時間	10:30 - 19:30 頃		クレジットカード	JCB, VISA, MASTER 利用可	
特 徴					
日本人マネージャー常駐。カンボジア国内各地の NGO にて製作された品物を主にした総合土産物店。通常のみやげ物品とあわせて、市場などではなかなか見られない品物が数多く展示販売されています。コンビニ的な商品（飲み物、スナック、日用雑貨など）も販売しております。					
取り扱い商品(仕入先各 NGO)					

AFESIP カバンや小物類

人身売買の被害に会った少女たちの
社会復帰のためのシェルターでの
職業訓練で作られた品々



NTFP&WILD HONEY

山岳民族(ラタナキリ州)の手織物・
カバンや小物類。自然のはちみつ。
不法な木材の伐採を防ぐため、地域
の人々がつくった織物を買って、
収入に貢献する



KAMONOHASHI

たたみから作られるバック・小物類
人身売買を阻止するため貧村で
行われている職業訓練のひとつ。
セージと呼ばれる草から畳を編み、
製品化し収入元とする



CAMBODIAN HARVEST フルーツの砂糖漬け

地雷被害者を雇用しフルーツの栽培、
加工、販売をしている。(元 NGO)



MEKONG QUILT キルト製品

女性の地位向上の一環として、貧村の
女性たちが家庭でキルトを製作し、販売
し収入を得ている。



SMATERIA

モスキートネット(網戸の網)で作られた
バッグや小物類
イタリア人デザイナーが立ち上げた会社。
海外輸出用として作成し、若者の雇用機会
を創出。



取り扱い商品(仕入先各 NGO、その他)

CYK (幼い難民を考える会)
シルク製品

子どもたちに情操教育を提供し、
学校給食の推進や女性たちに
シルクの織物の指導を行っている。



RAHAB CRAFT

木彫り、シルバー、シルク製品
地雷被害者や身体障害者に職業訓練を行
い、ここで作られた製品を販売している。



NCDP

シルク、木彫り、シルバー製品など
地雷被害者や身体障害者の職業訓練を行
っている。カンボジア国内では大規模で製
品の海外への輸出も行っている。



カンボジア・ティー・タイム
お菓子(ノムトムムーン)

カンボジアの伝統的なお菓子を販売。
若者の雇用機会を創出。



AMATA

日本人デザイナーによって作られた、
帽子アロマオイル、小物など。



KRU KHMER

カンボジア産のハーブから作られた
バスソルト、オーガニックハーブの入浴剤。



アンコール・ロビスケット



バイヨン・チョコレート(Divastone)



小物類



その他(Tシャツなど)



その他(カンボジアワインなど)



その他(衣類など)



注意事項
・その他

グループの場合、営業時間などの延長も可能です。
上記写真以外にも多数の土産品がございます。

LUCKY MALL COMPLEX

ラッキーモール

ADDRESS : Sivatha Boulevard, Siem Reap

TEL : (855) 63-760740 FAX : E-MAIL: info@luckymarketgroup.com Web-Site : www.luckymarketgroup.com/home.html



－ 外観 －



－ 正面外観 －

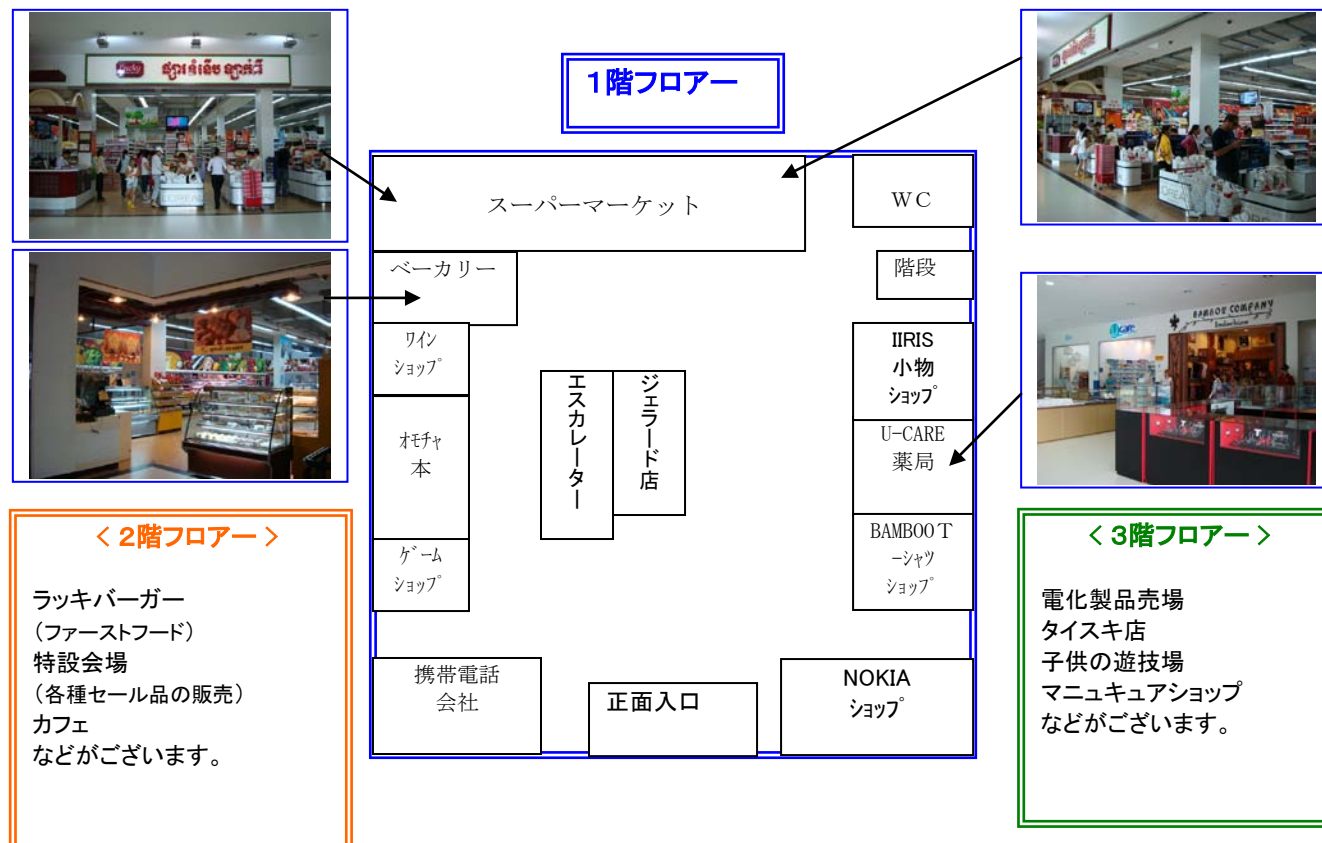


－ 店内の様子 －

ロケーション	シェムリアップ市内中心部シヴァタ通りに位置。プリンスダンコールホテル斜め前。				
創業	2008 年9月	階数	3	入場料金	無料
営業時間	09:30 - 22:00	休業日	無	所要見学時間	---
食事	---	日本語案内	無	日本語ガイド	無

特徴

・シェムリアップに出来た大型ショッピングセンターです。店内には、スーパーマーケット、衣料品、電化製品・ファーストフード店など各種店舗がそろっております。市場と違い全館冷房の涼しいショッピングセンターで、現地のお買い物事情をご覧いただけます。



注意事項 ・その他

上記店舗情報は、2014年5月現在のものになります。
入店店舗などは随時変更になる場合がございますので、予めご了承願います。

扉を開けると、ほらそこに…



エス・エム・アイ トラベル グループ

日本：東京、大阪、名古屋、福岡
 海外現地法人：タイ、マレーシア、シンガポール、台湾、ベトナム
 カンボジア、インドネシア、ミャンマー

日 本 : 東京、大阪、名古屋、福岡
海外現地法人 : タイ、マレーシア、シンガポール、台湾、ベトナム
カンボジア、インドネシア、ミャンマー



Siam Motors International (S.M.I.) Travel Co., Ltd

**No.112, Svay Dang Kum, Siem Reap
Kingdom of Cambodia**

Tel: (855) 63 964771
Fax: (855) 63 964772